



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

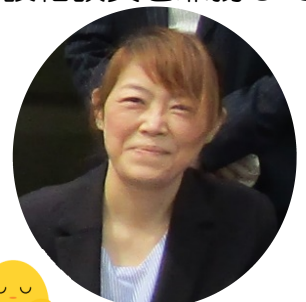
今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

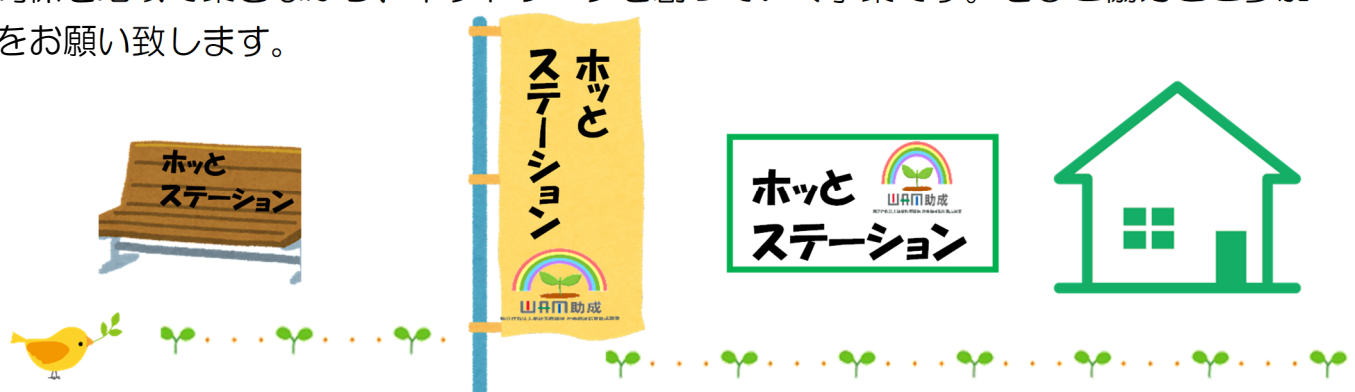




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

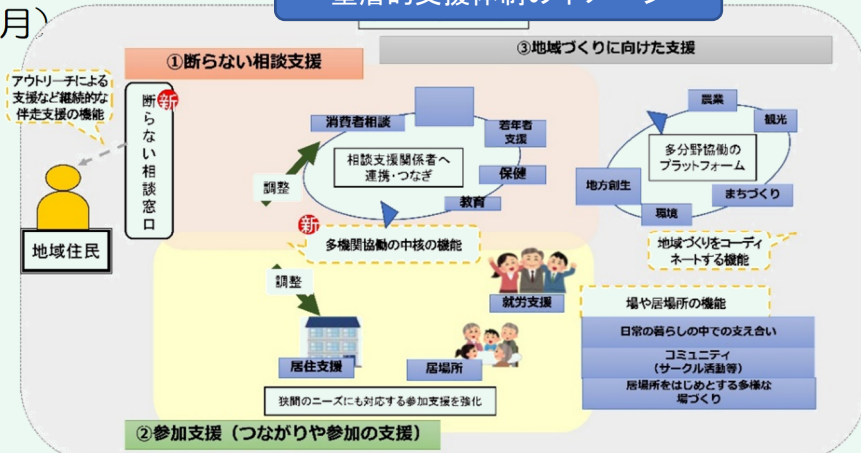
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

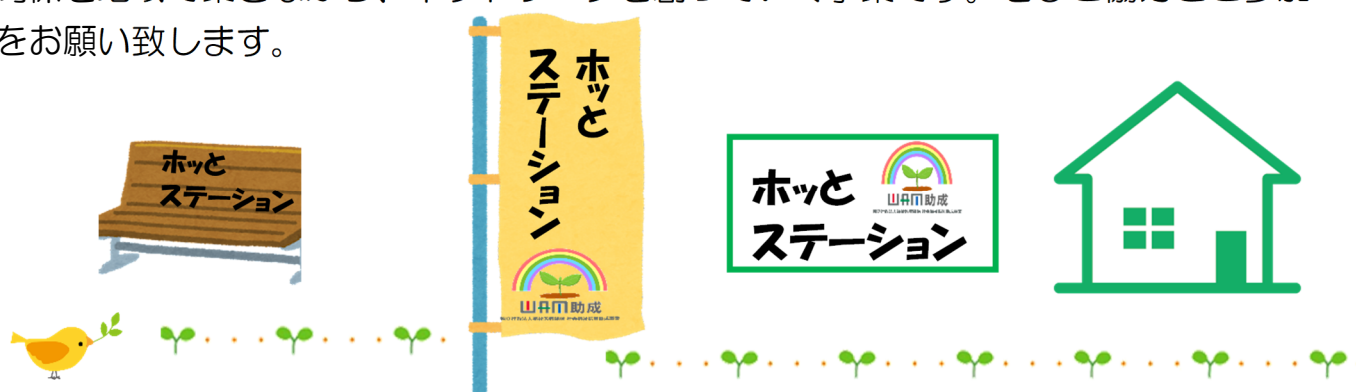




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

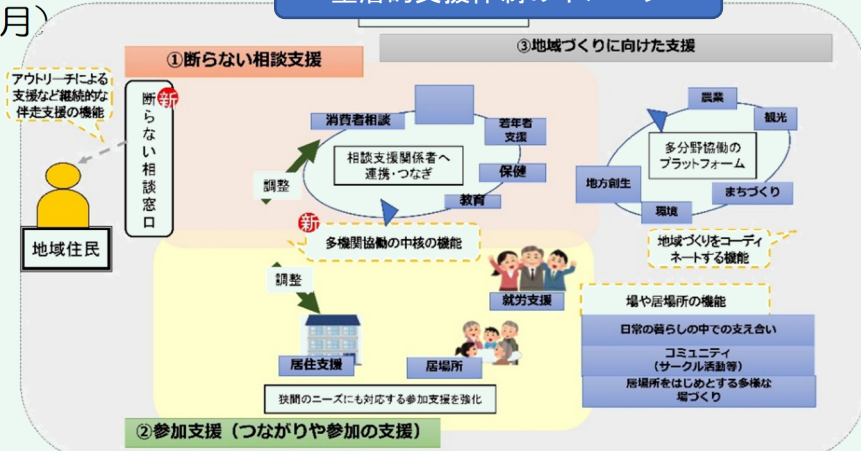
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)





## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

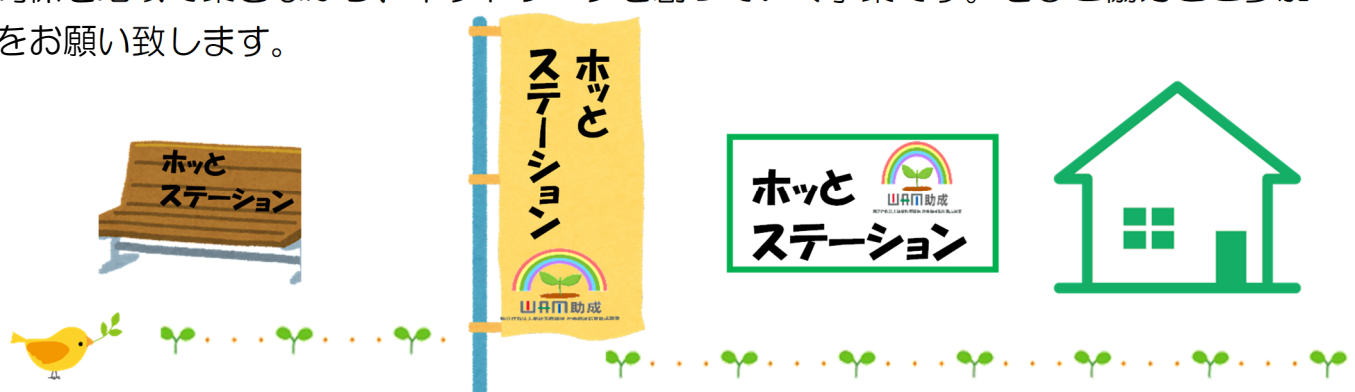




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

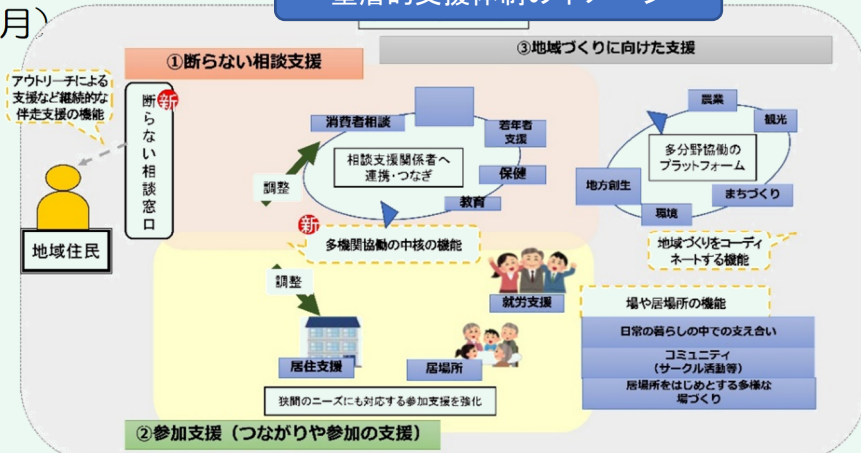
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)





## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

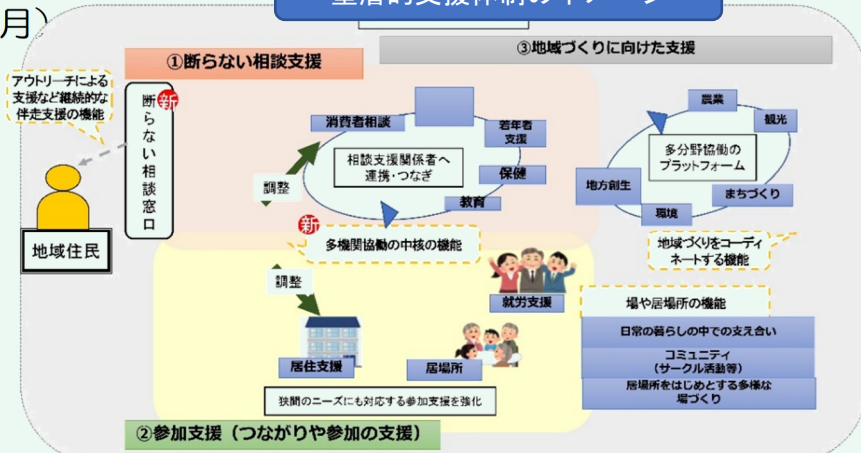
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)







## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

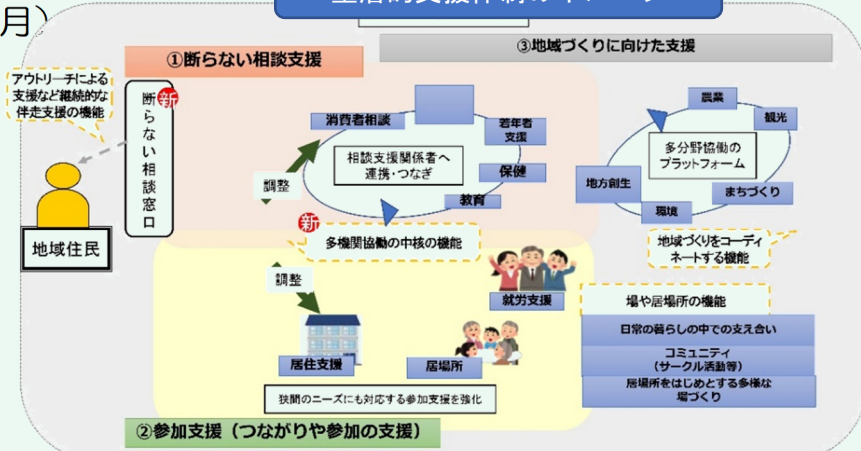
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)





## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

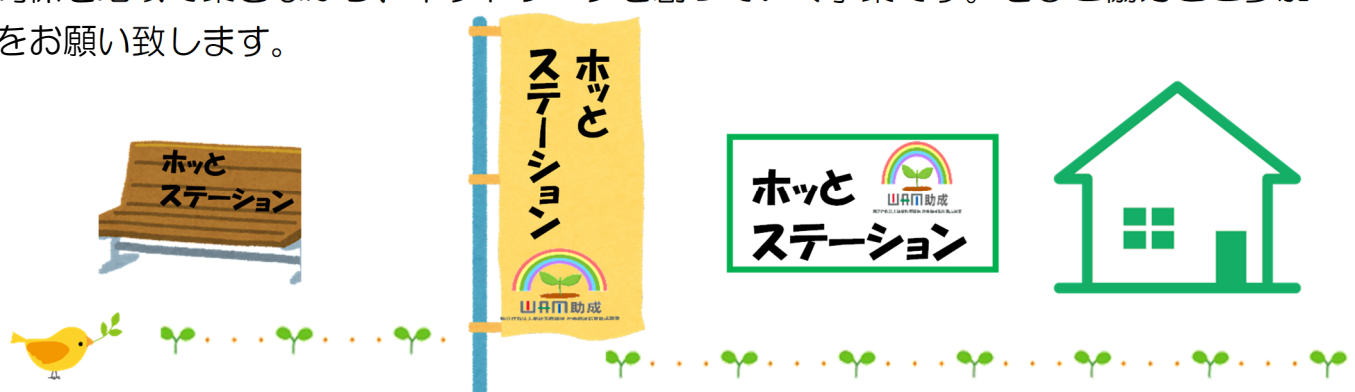




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

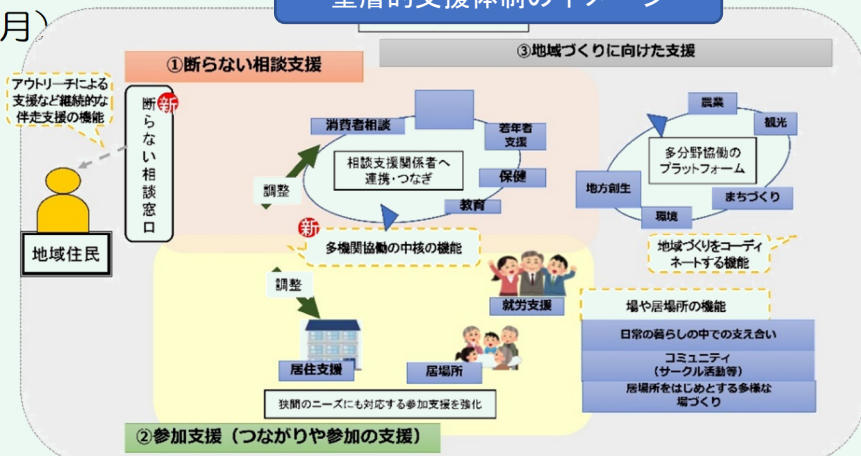
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)





## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

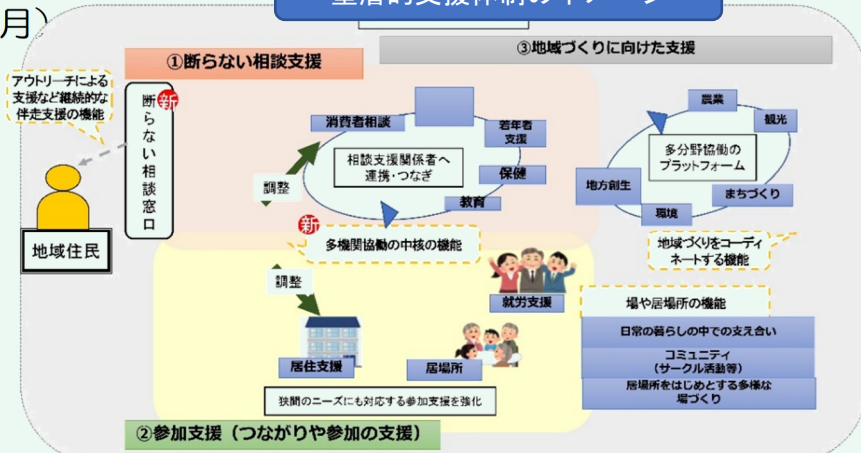
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)







## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

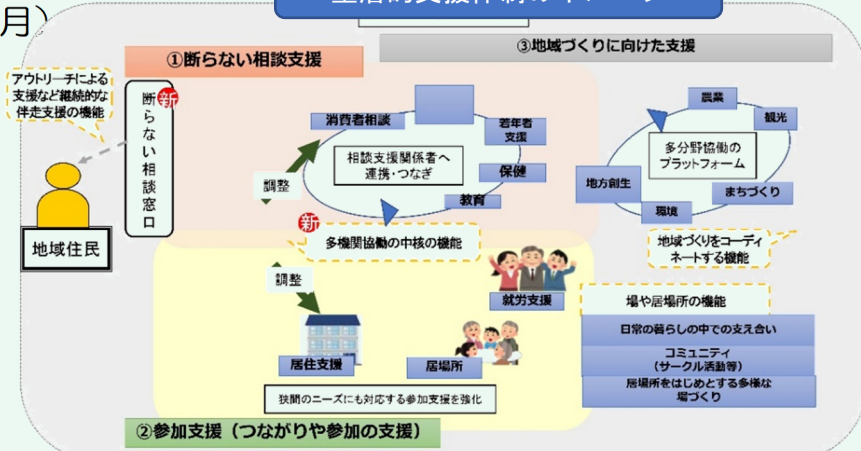
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)





## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

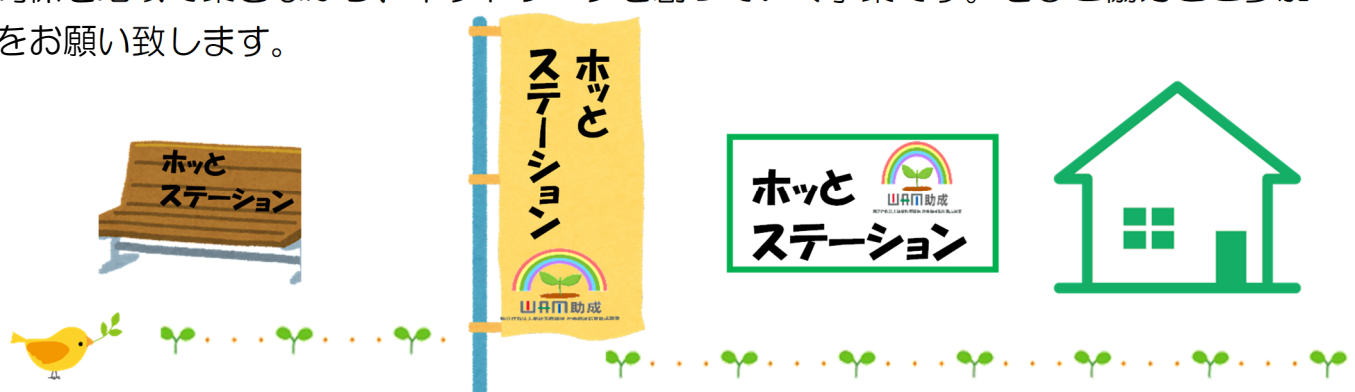




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

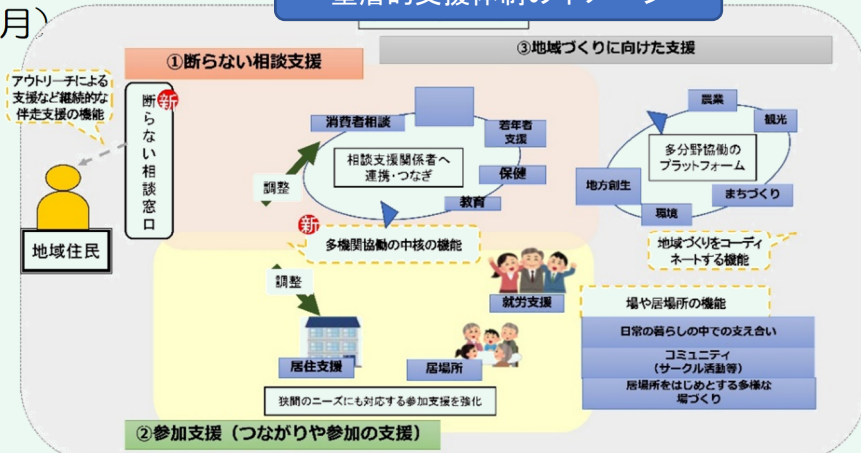
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時:2022年6月13日(月)PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ:8050問題 / 時期:2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ:薬剤師さんに聞いてみよう / 時期:2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会:7月1日(金)

テーマ:生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会:第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

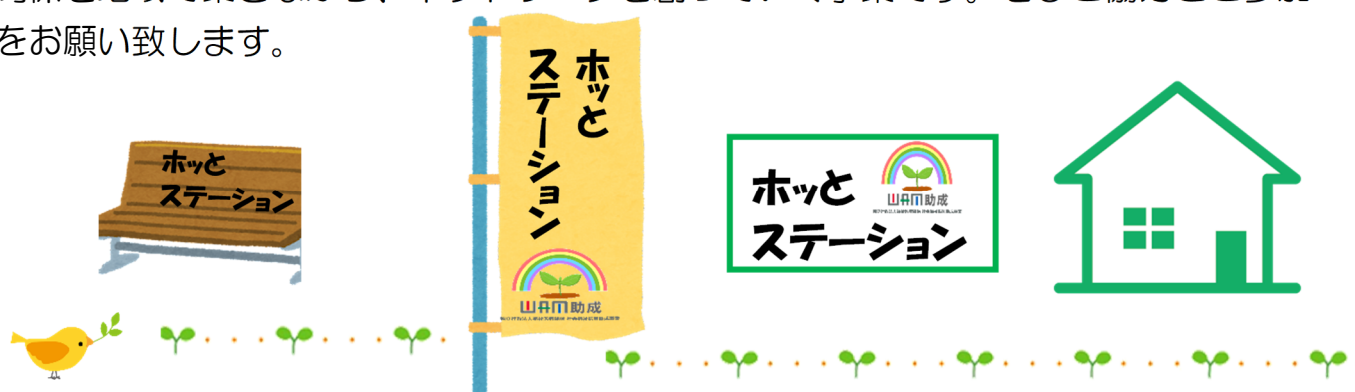




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

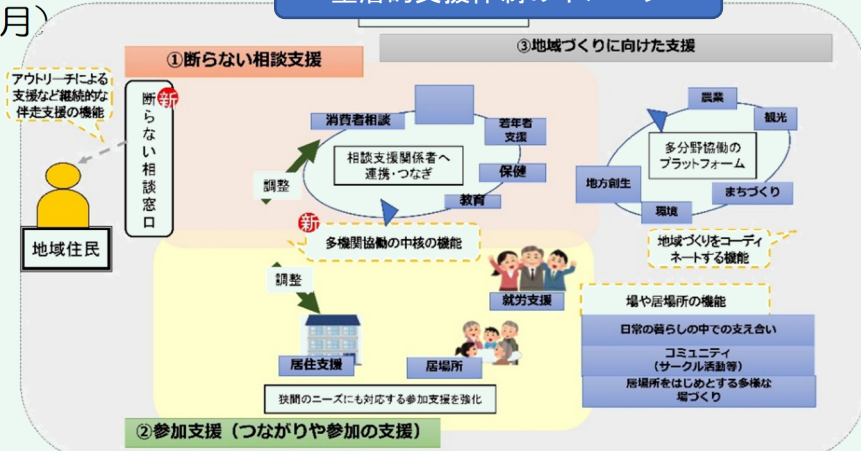
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)



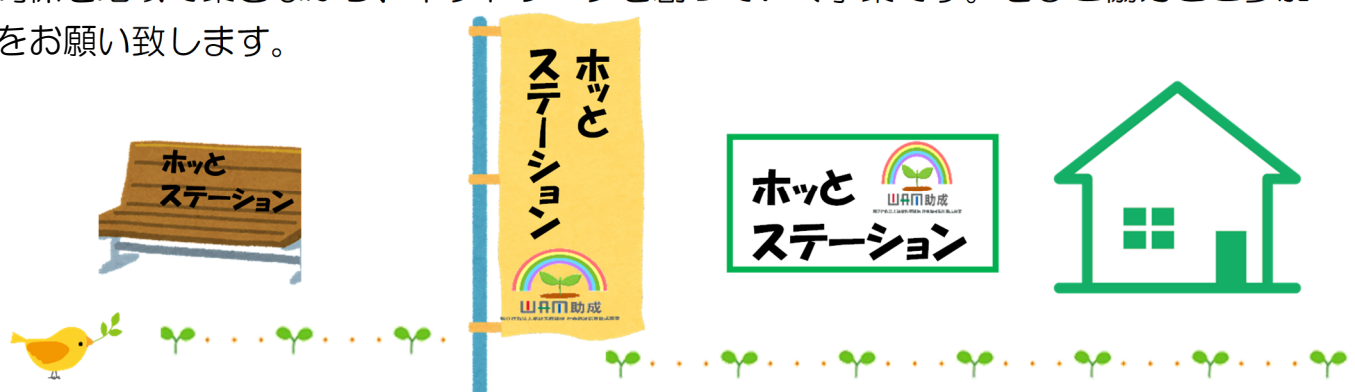




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

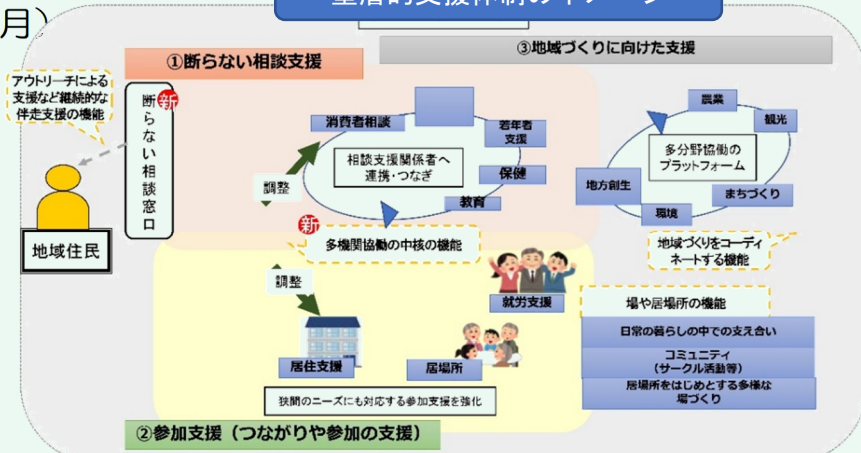
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

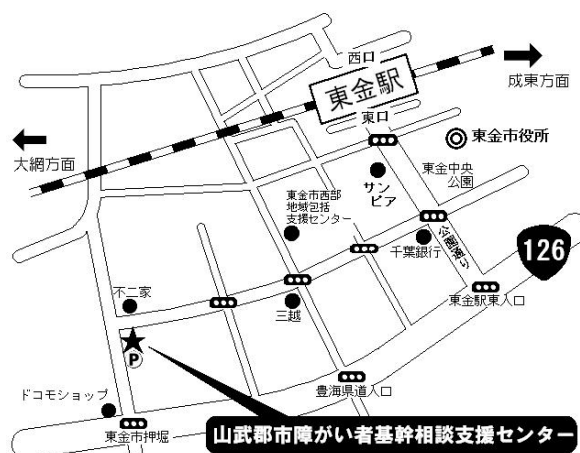
【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)





## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

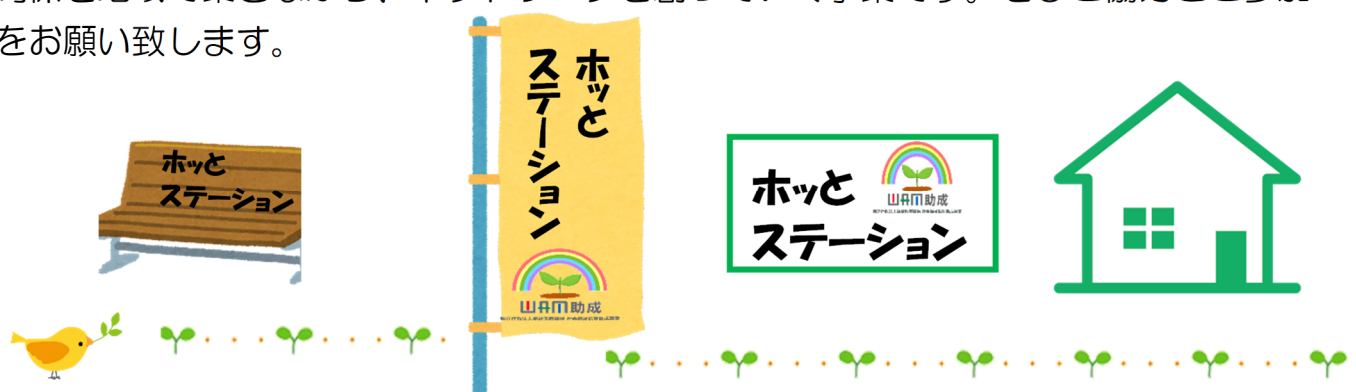




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

① 重層的支援体制整備にかかる勉強会 (7月)

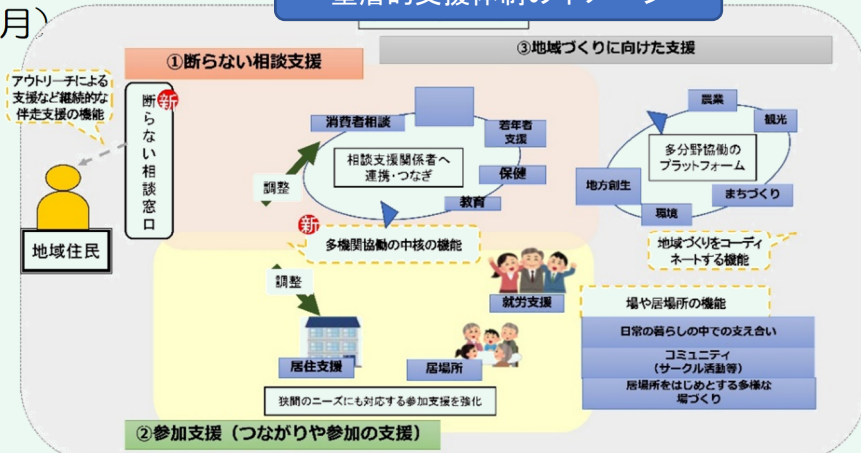
② 権利擁護を考える座談会 (10月)

③ 暮らしの法律相談会 (12月)

④ 困難事例検討会 (1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン (ZOOMミーティング) 設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

① 第1回 研修会

テーマ: 「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日 (月) PM

② 第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③ 第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日 (金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日 (月) 第2回 10月24日 (月)

第3回 2023年2月27日 (月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)





## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

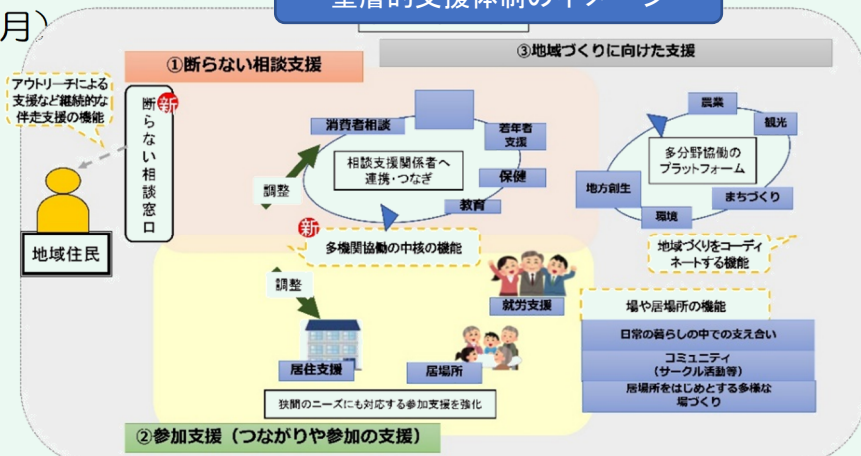
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)







## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

① 重層的支援体制整備にかかる勉強会 (7月)

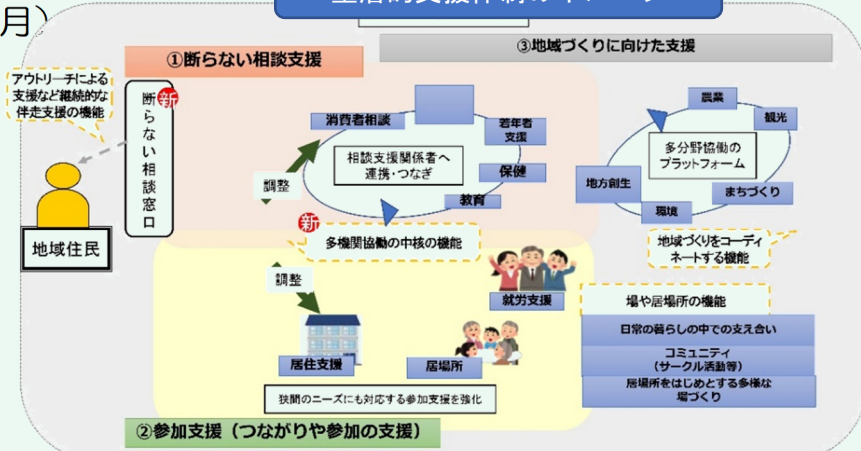
② 権利擁護を考える座談会 (10月)

③ 暮らしの法律相談会 (12月)

④ 困難事例検討会 (1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン (ZOOMミーティング) 設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

① 第1回 研修会

テーマ: 「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日 (月) PM

② 第2回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③ 第3回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日 (金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日 (月) 第2回 10月24日 (月)

第3回 2023年2月27日 (月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)





## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

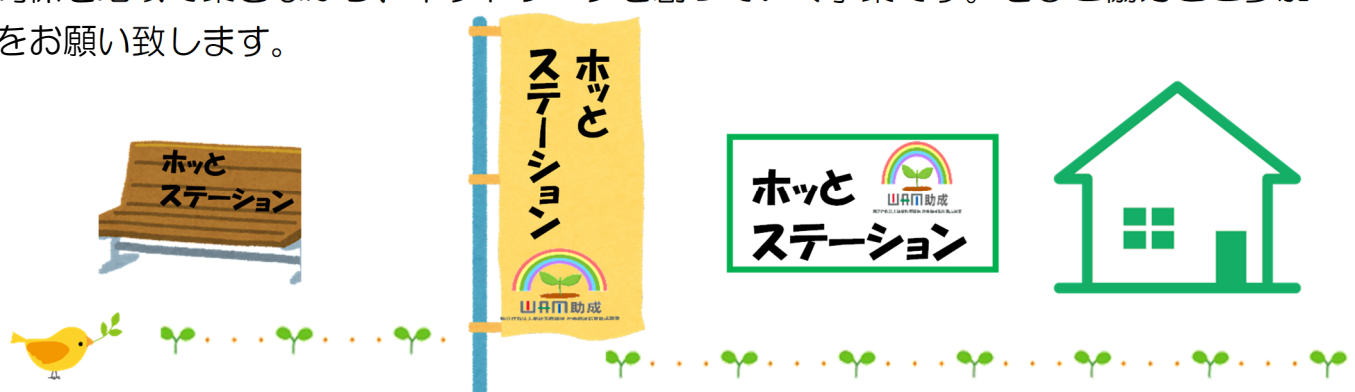




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

① 重層的支援体制整備にかかる勉強会 (7月)

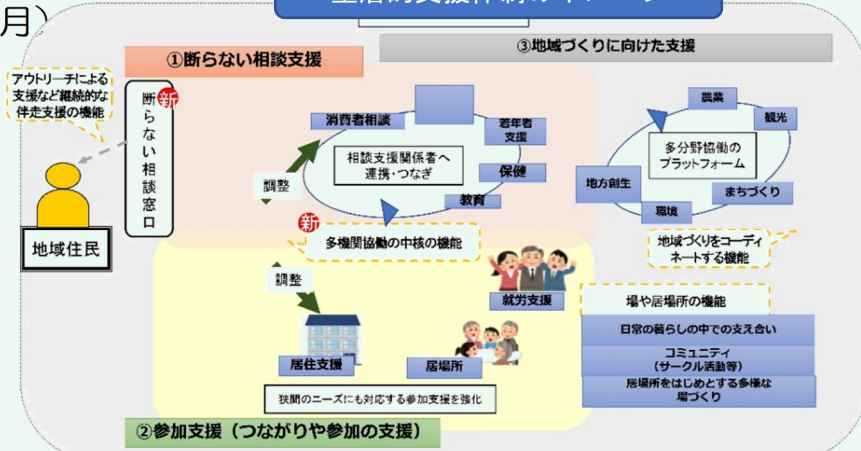
② 権利擁護を考える座談会 (10月)

③ 暮らしの法律相談会 (12月)

④ 困難事例検討会 (1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン (ZOOMミーティング) 設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

① 第1回 研修会

テーマ: 「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日 (月) PM

② 第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③ 第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日 (金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日 (月) 第2回 10月24日 (月)

第3回 2023年2月27日 (月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

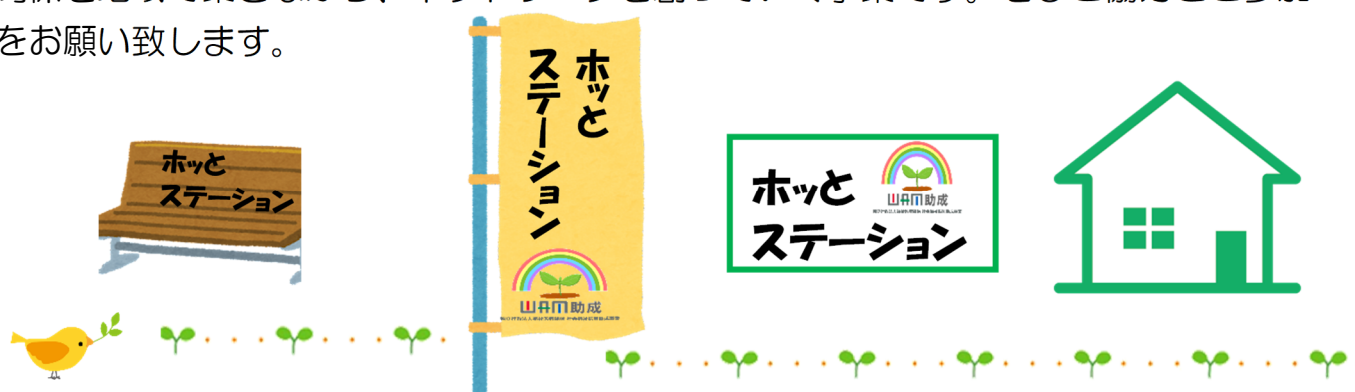




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

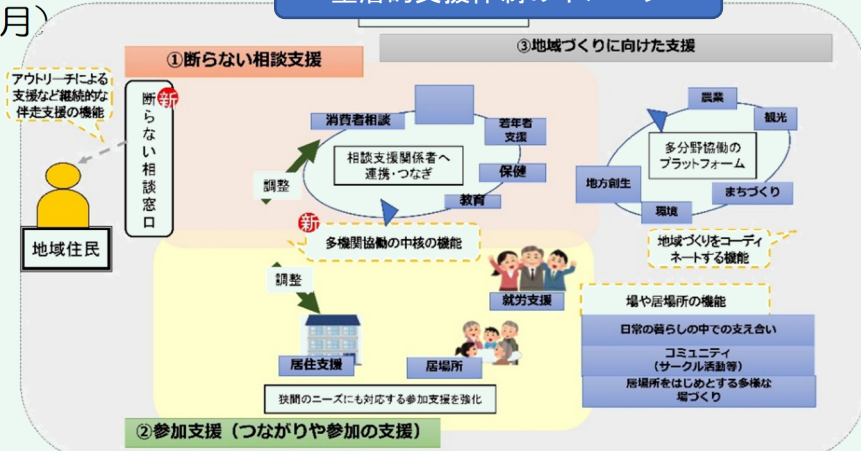
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)



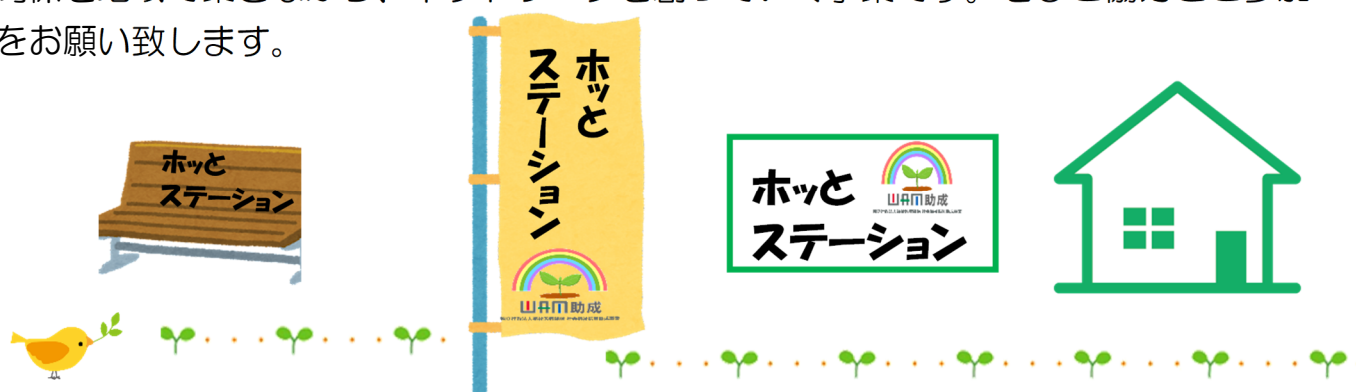




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

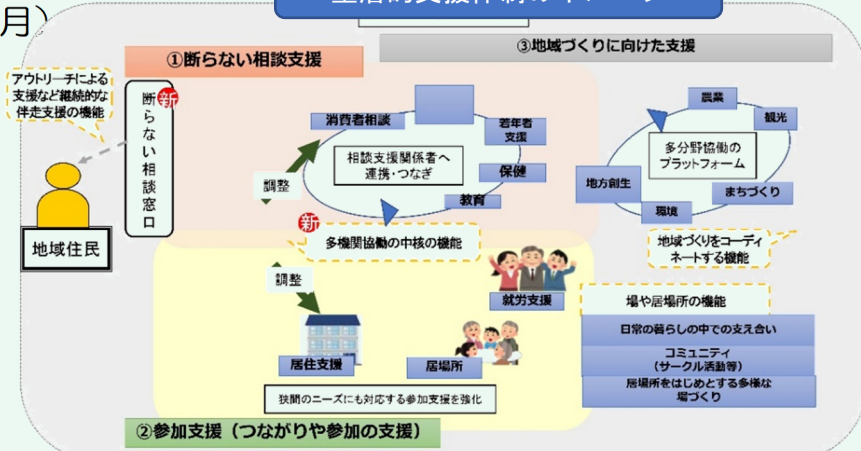
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)





## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)





## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

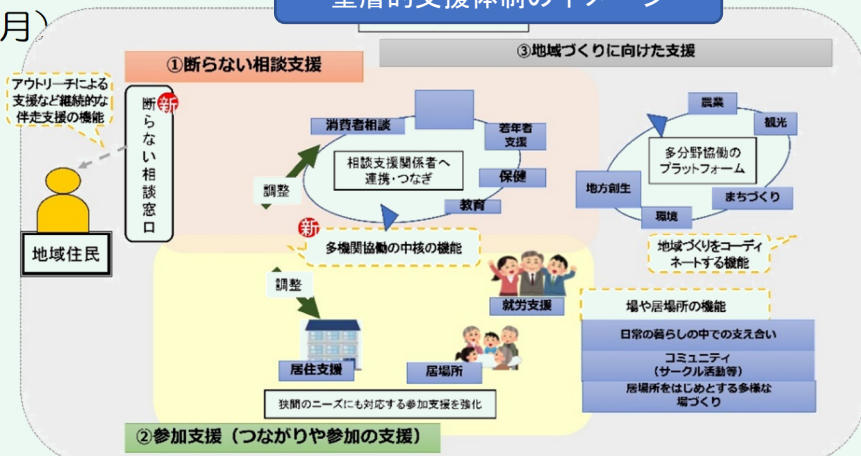
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

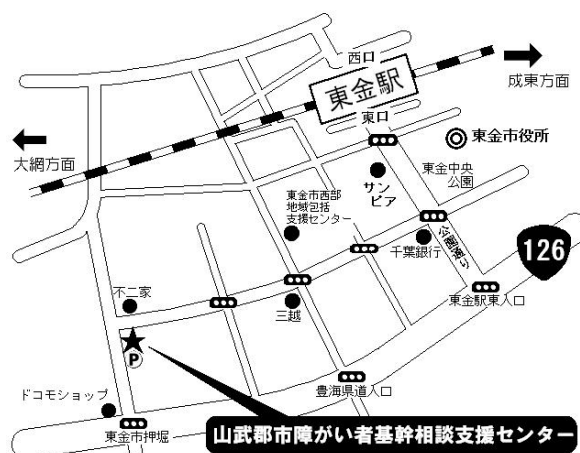
【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)





## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

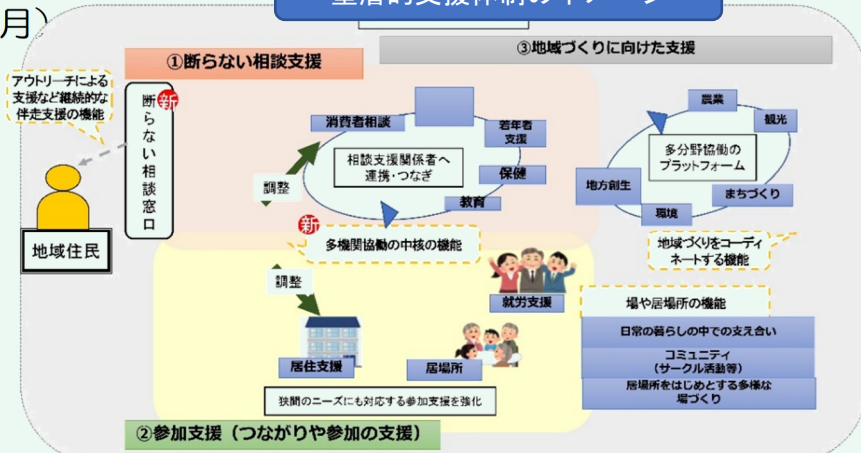
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)







## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

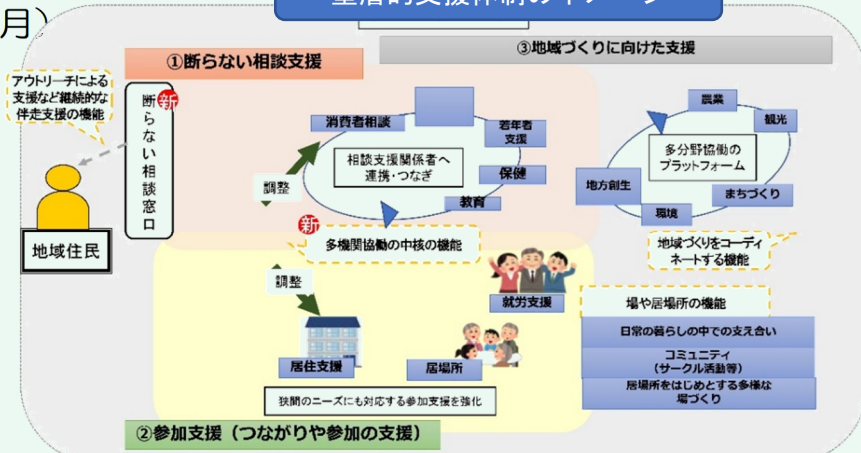
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)





## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)





## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

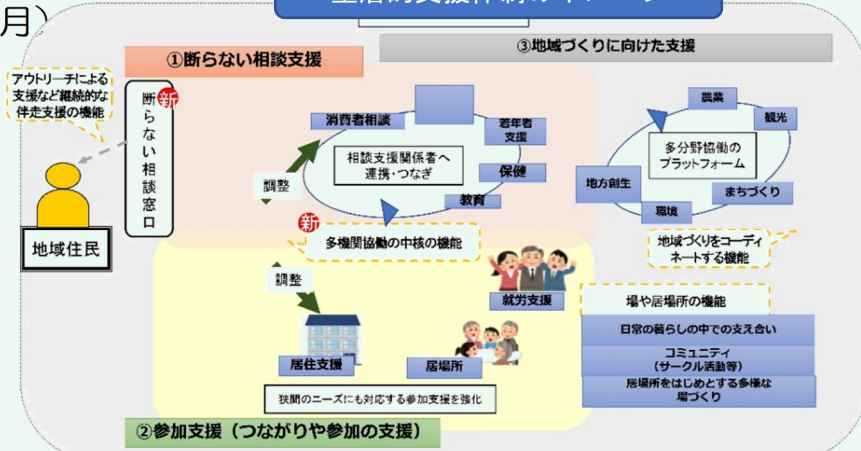
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)





## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

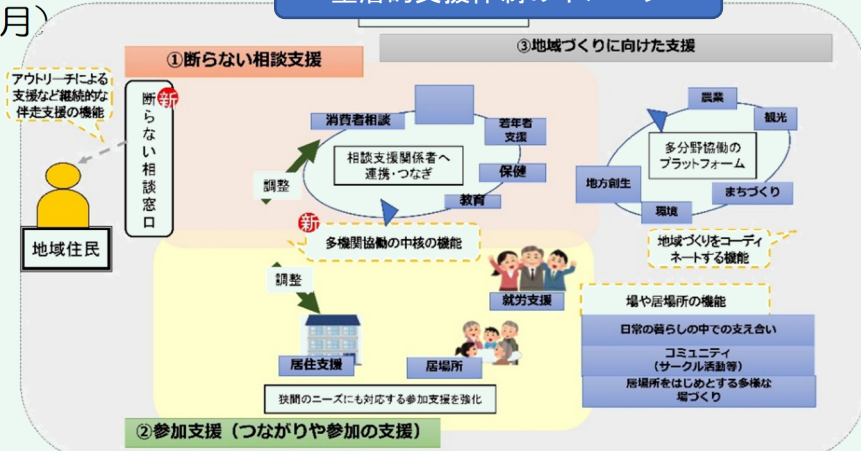
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

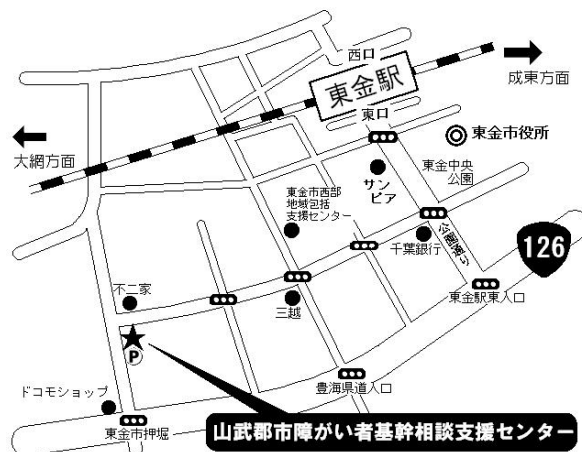
【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)



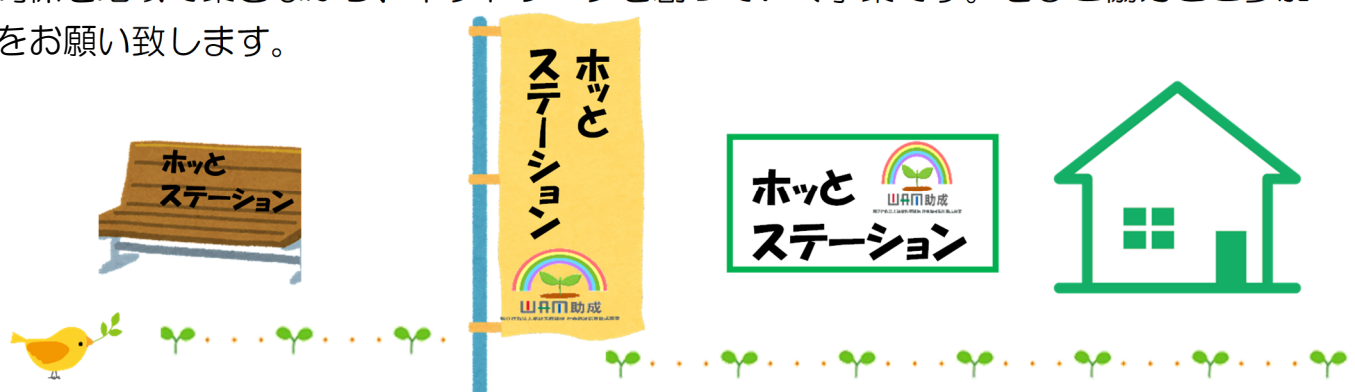




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

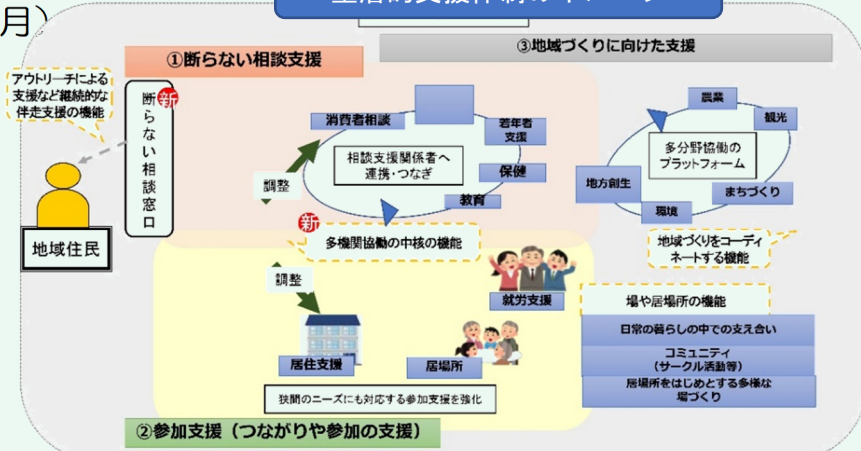
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

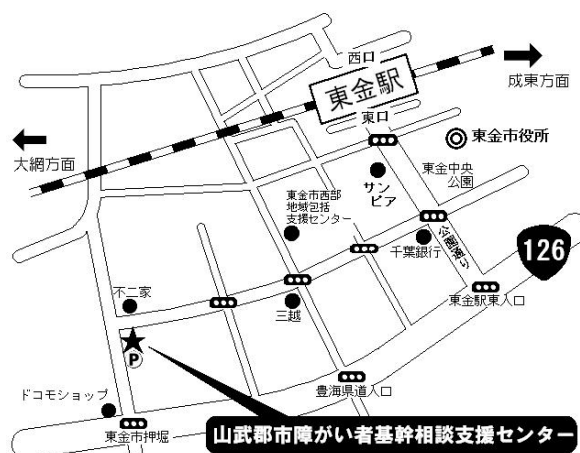
【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)





## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)





## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

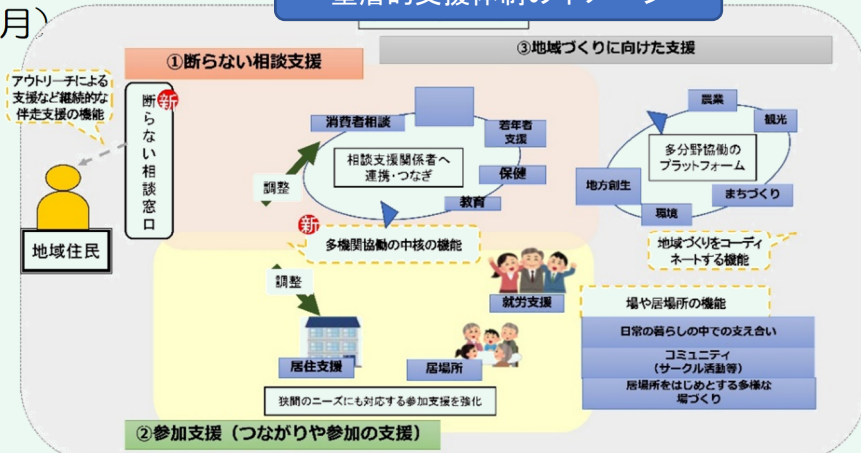
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

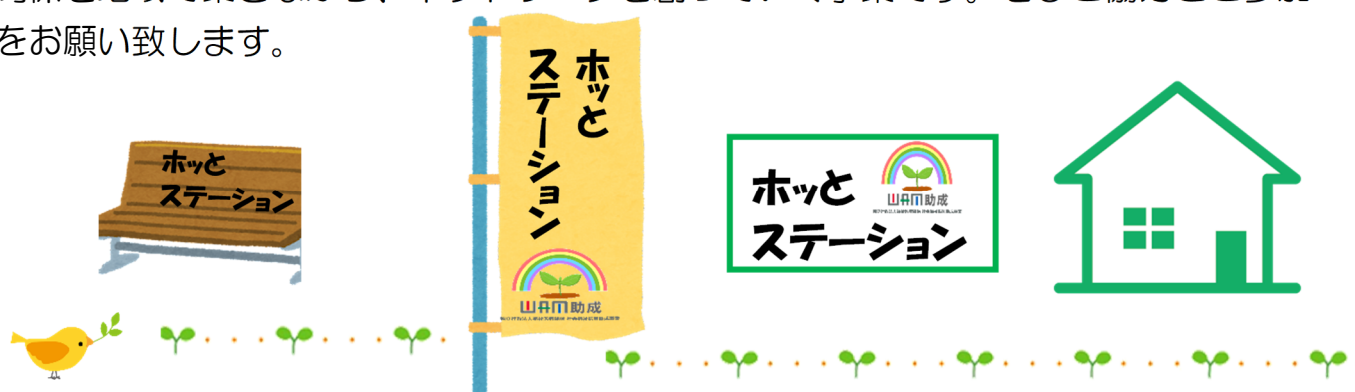




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

① 重層的支援体制整備にかかる勉強会 (7月)

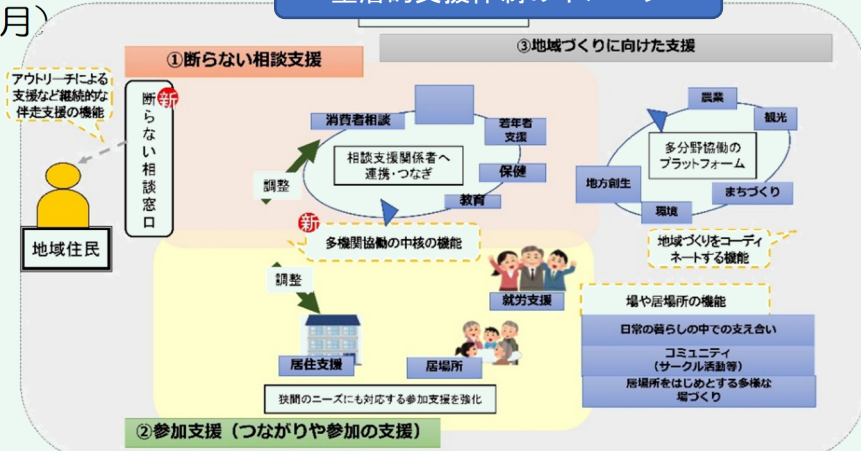
② 権利擁護を考える座談会 (10月)

③ 暮らしの法律相談会 (12月)

④ 困難事例検討会 (1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン (ZOOMミーティング) 設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

① 第1回 研修会

テーマ: 「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日 (月) PM

② 第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③ 第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日 (金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日 (月) 第2回 10月24日 (月)

第3回 2023年2月27日 (月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)



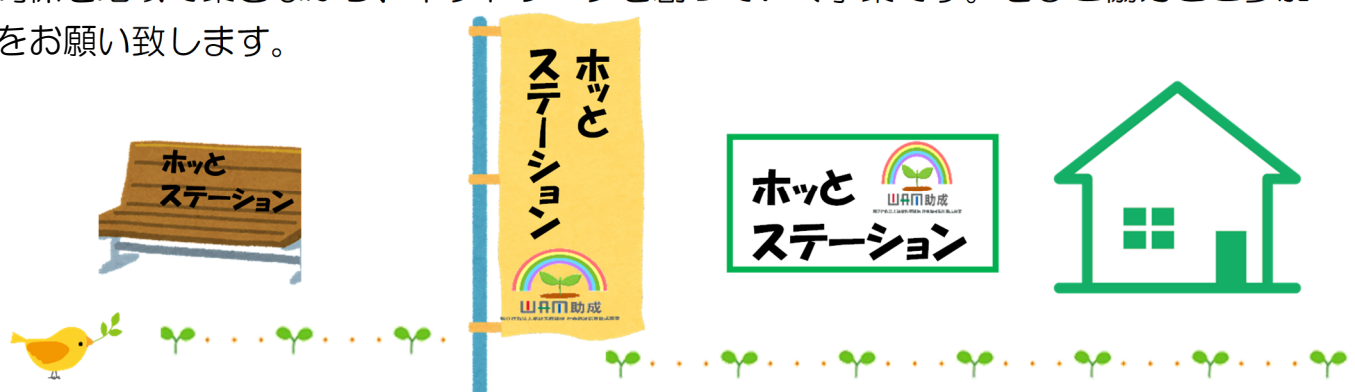




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

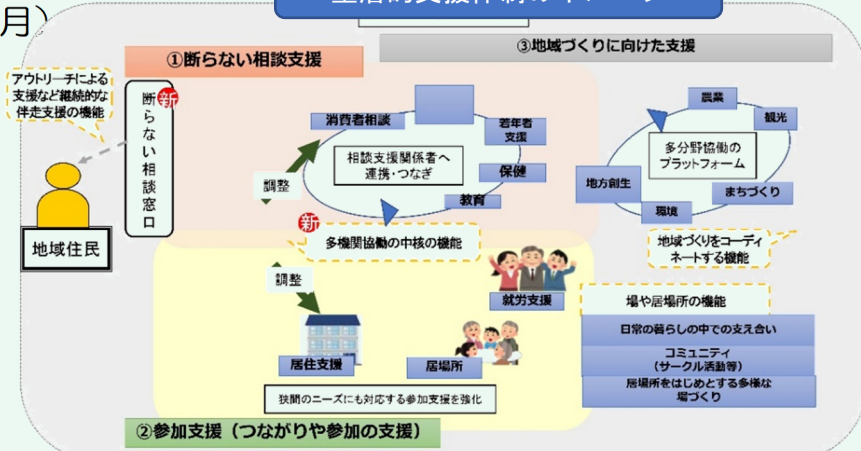
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)





## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

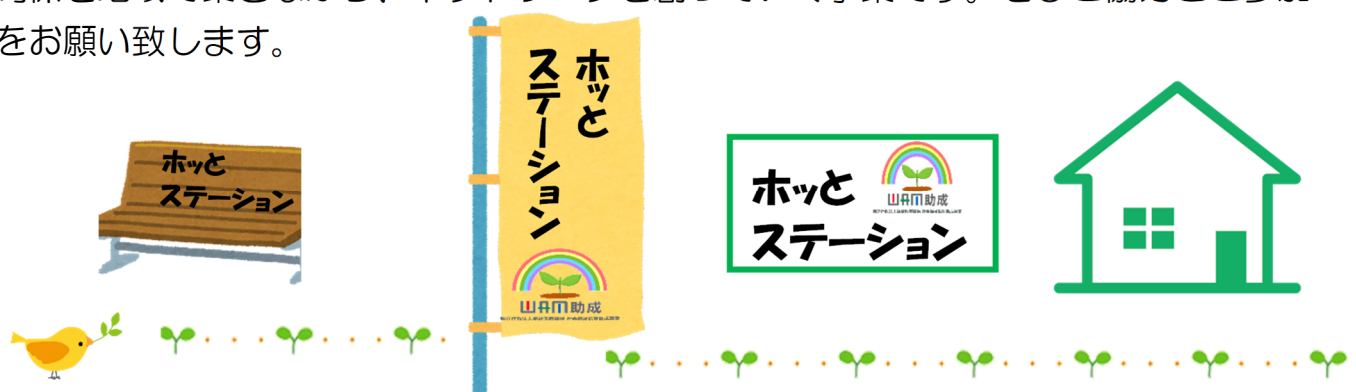




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

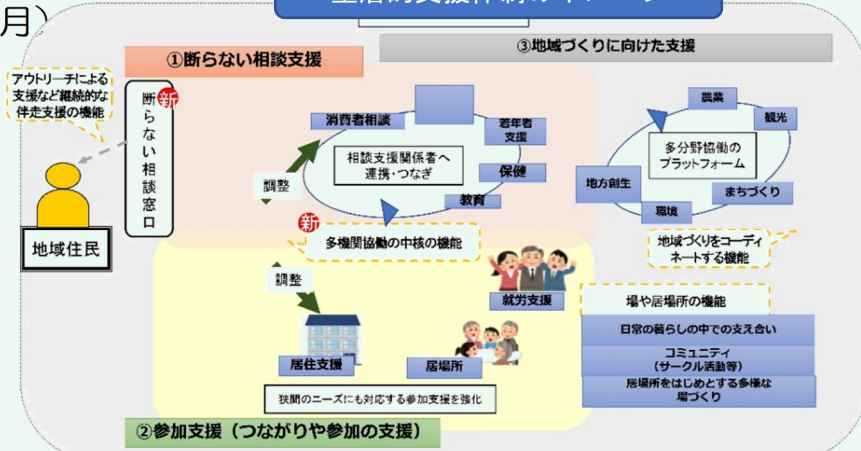
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

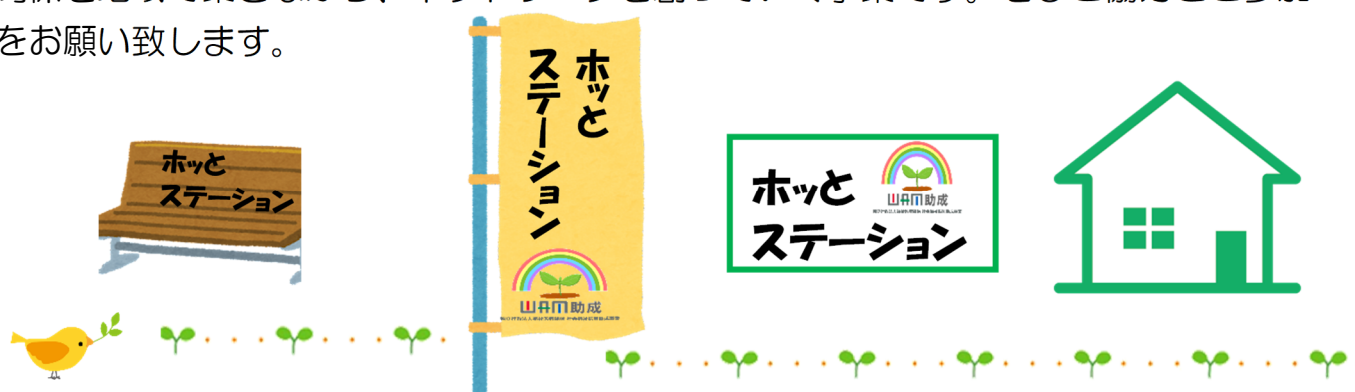




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

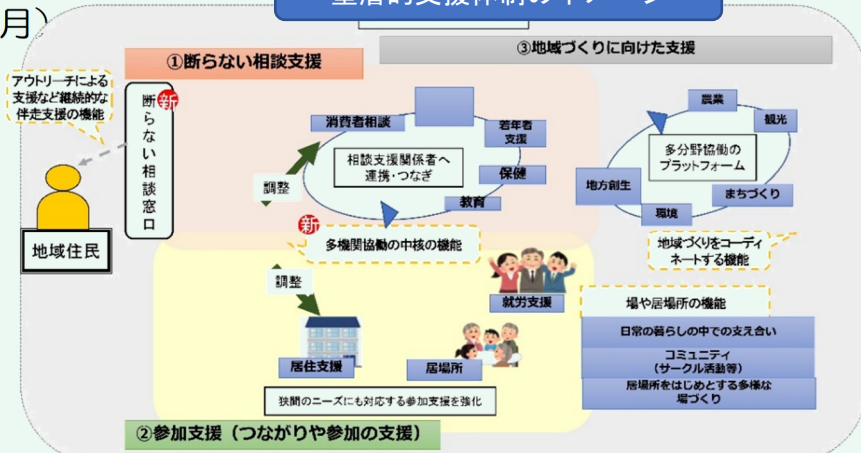
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)







## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

① 重層的支援体制整備にかかる勉強会 (7月)

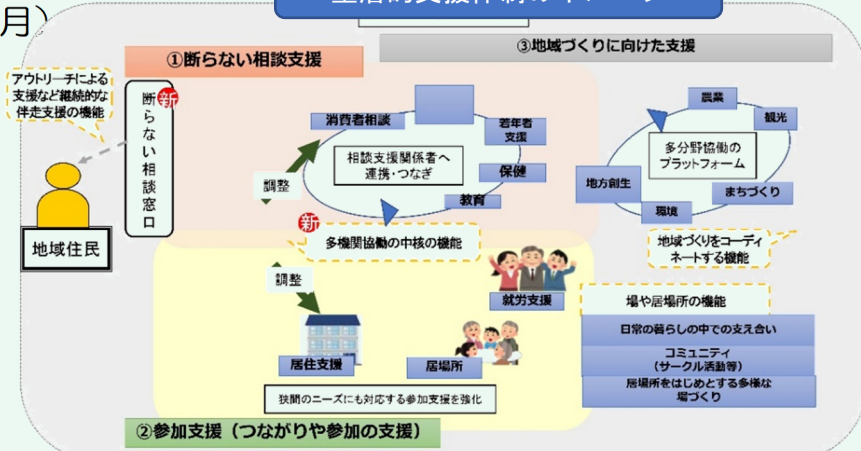
② 権利擁護を考える座談会 (10月)

③ 暮らしの法律相談会 (12月)

④ 困難事例検討会 (1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン (ZOOMミーティング) 設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

① 第1回 研修会

テーマ: 「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日 (月) PM

② 第2回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③ 第3回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日 (金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日 (月) 第2回 10月24日 (月)

第3回 2023年2月27日 (月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)





## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)





## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

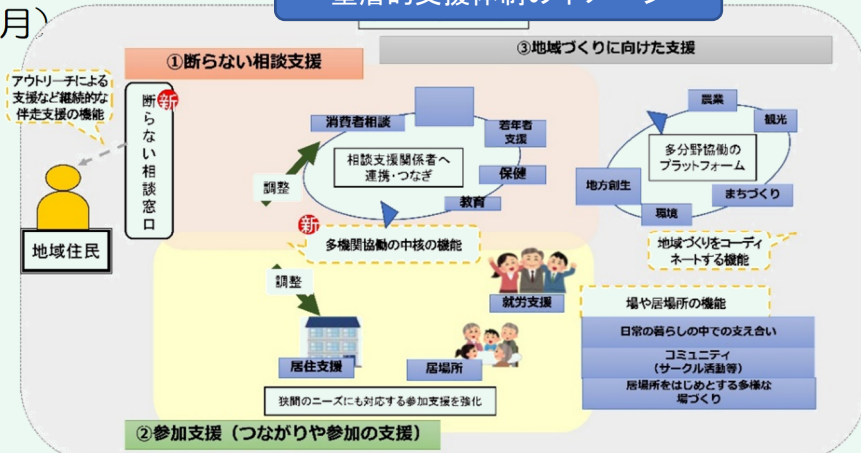
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

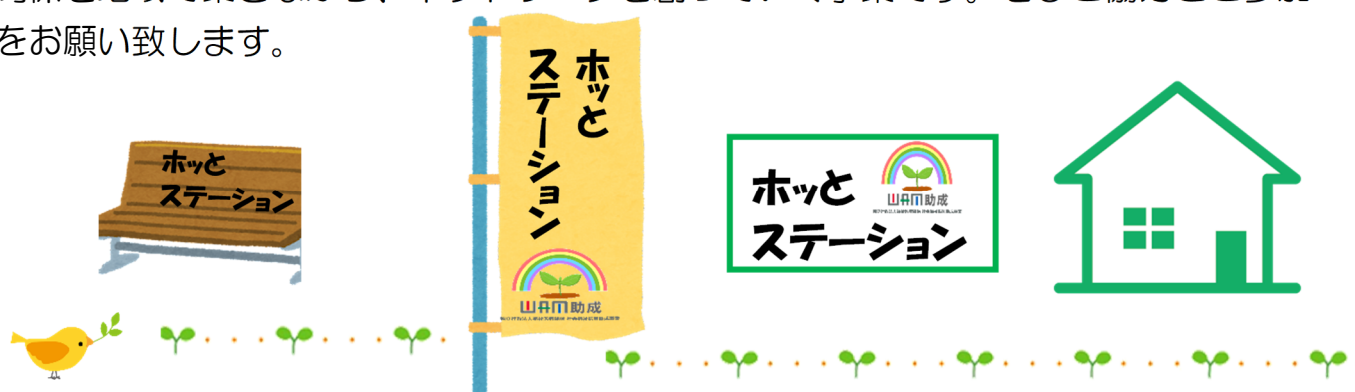




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

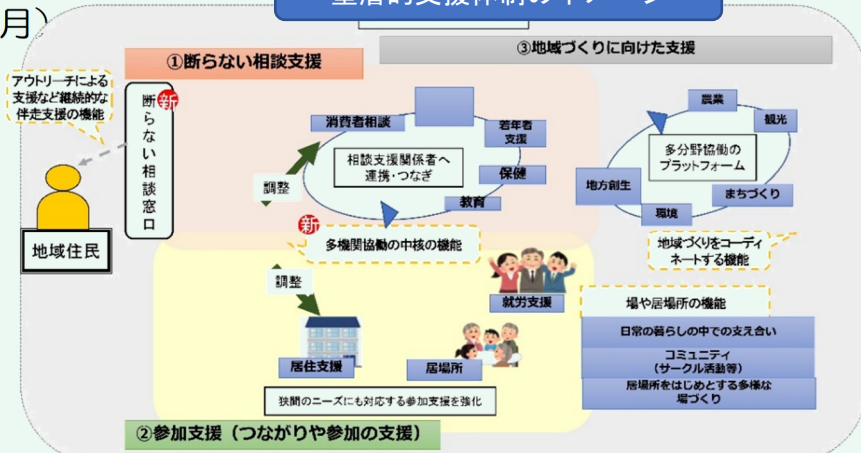
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)



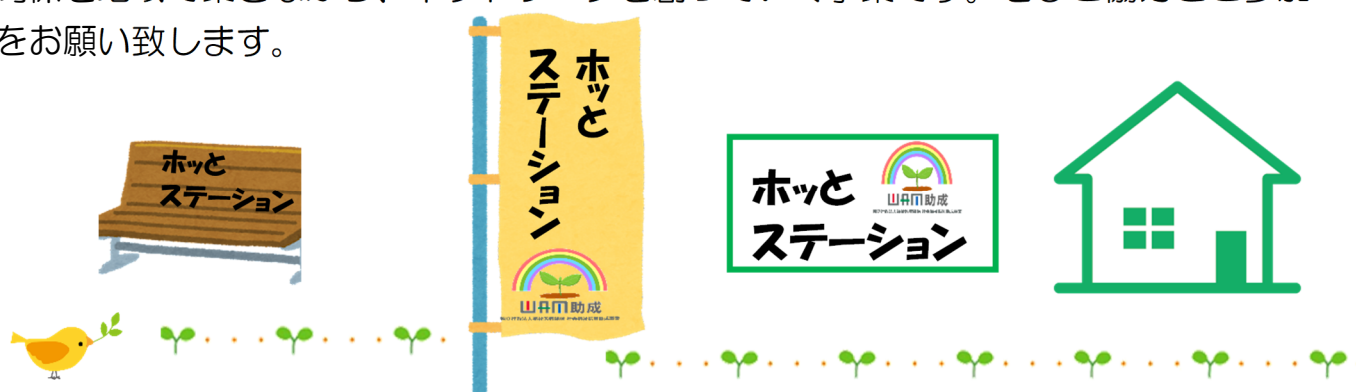




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

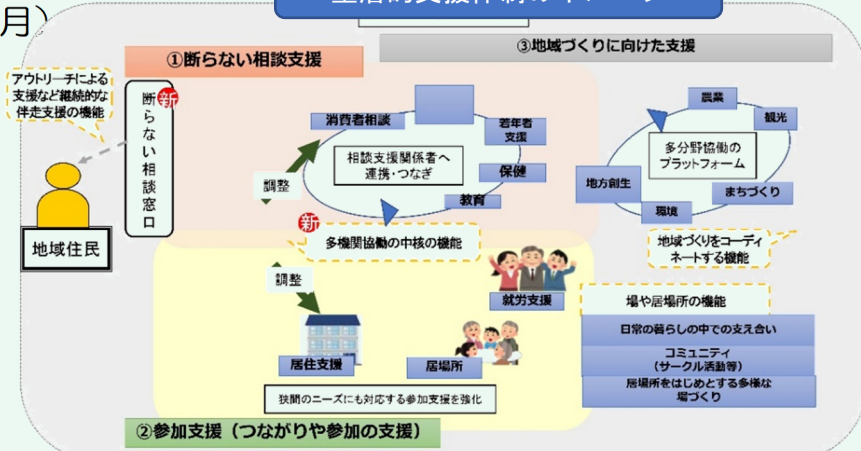
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)





## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)





## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

① 重層的支援体制整備にかかる勉強会 (7月)

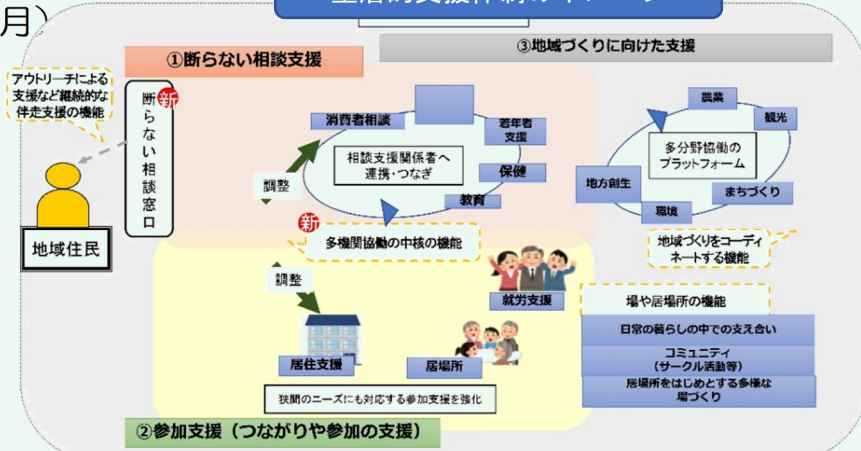
② 権利擁護を考える座談会 (10月)

③ 暮らしの法律相談会 (12月)

④ 困難事例検討会 (1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン (ZOOMミーティング) 設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

① 第1回 研修会

テーマ: 「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日 (月) PM

② 第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③ 第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日 (金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日 (月) 第2回 10月24日 (月)

第3回 2023年2月27日 (月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)





## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

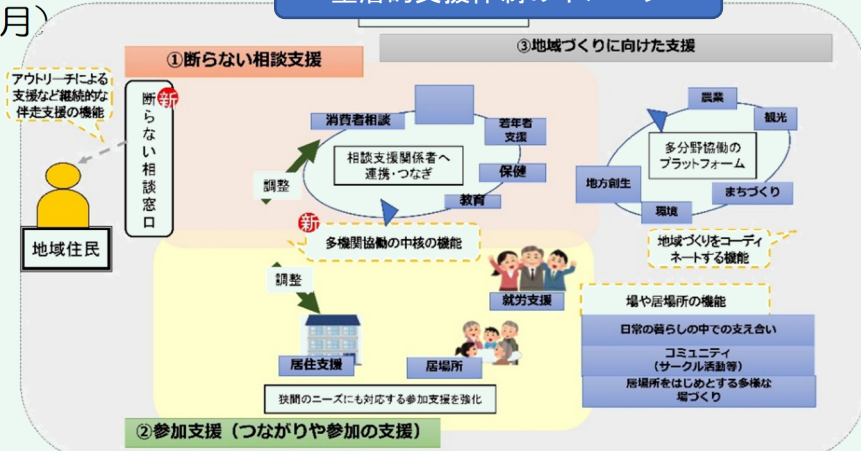
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)



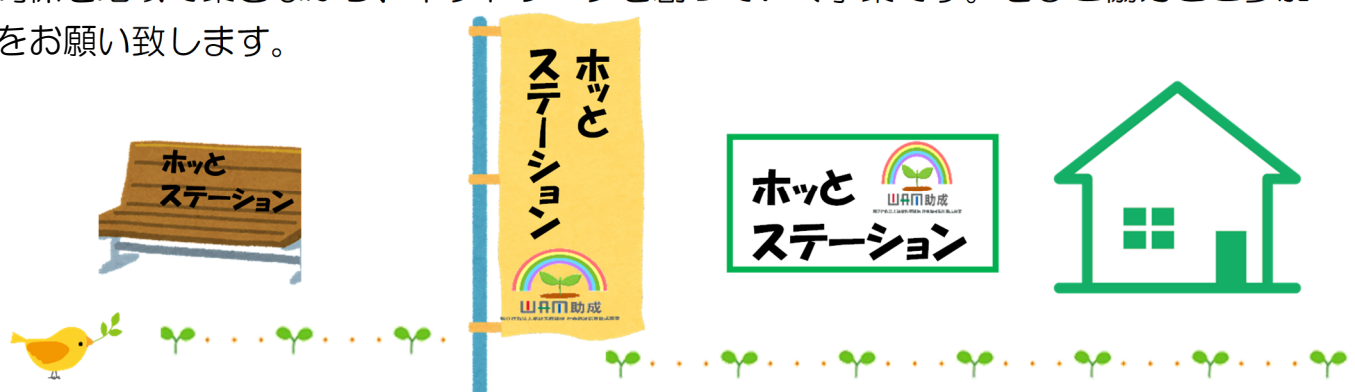




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

① 重層的支援体制整備にかかる勉強会 (7月)

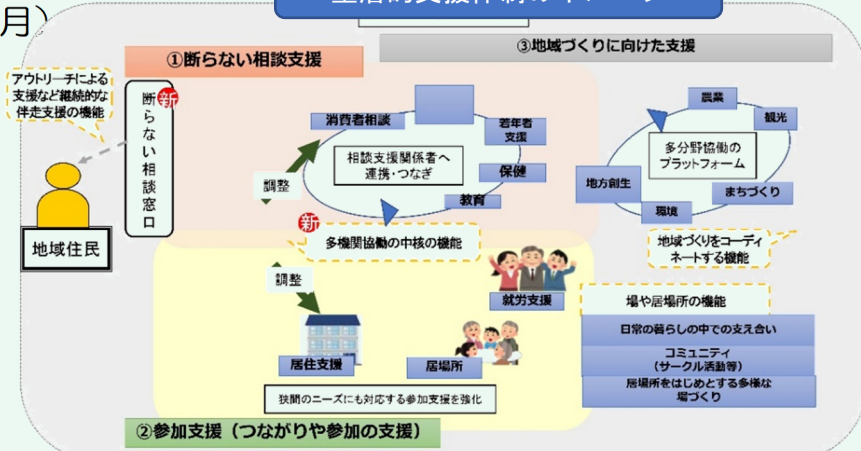
② 権利擁護を考える座談会 (10月)

③ 暮らしの法律相談会 (12月)

④ 困難事例検討会 (1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン (ZOOMミーティング) 設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

① 第1回 研修会

テーマ: 「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日 (月) PM

② 第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③ 第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日 (金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日 (月) 第2回 10月24日 (月)

第3回 2023年2月27日 (月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)





## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)





## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

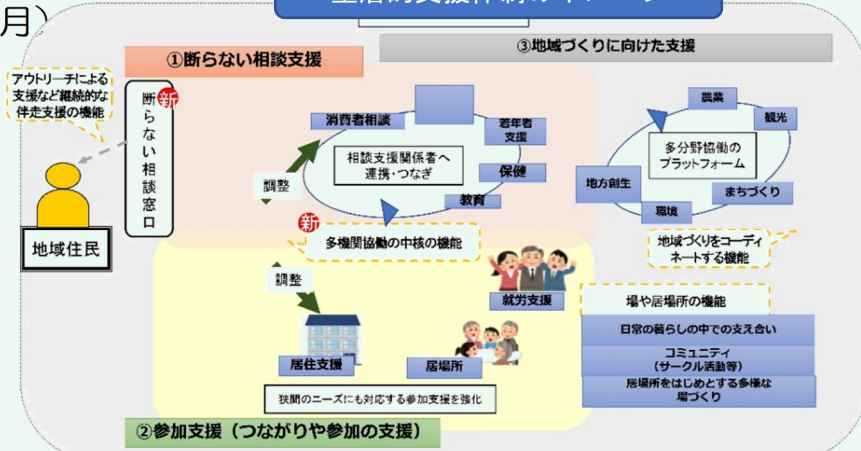
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)





## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

① 重層的支援体制整備にかかる勉強会 (7月)

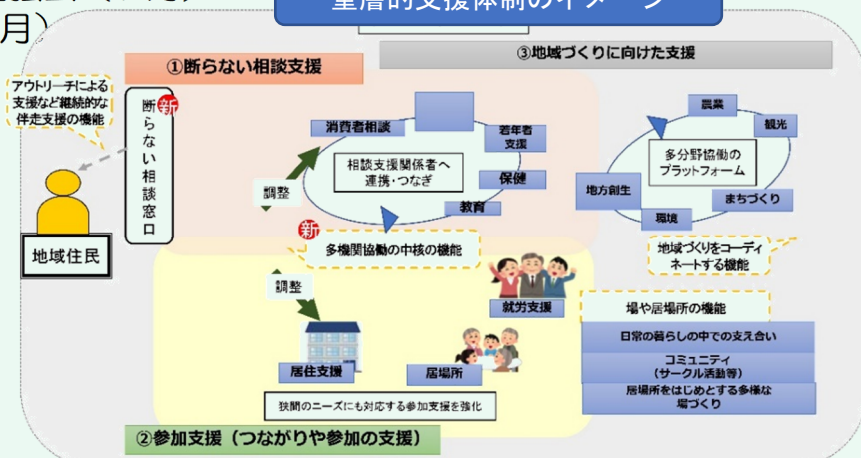
② 権利擁護を考える座談会 (10月)

③ 暮らしの法律相談会 (12月)

④ 困難事例検討会 (1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン（ZOOMミーティング）設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

① 第1回 研修会

テーマ：「身寄り問題と成年後見制度」

日時：2022年6月13日（月）PM

② 第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ：8050問題 / 時期：2022年9月

③ 第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ：薬剤師さんに聞いてみよう / 時期：2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会：7月1日（金）

テーマ：生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会：第1回 6月27日（月） 第2回 10月24日（月）

第3回 2023年2月27日（月） 各18時30分～20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

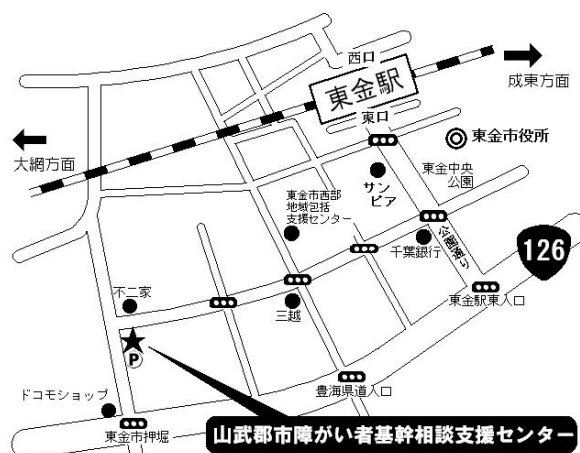
【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)



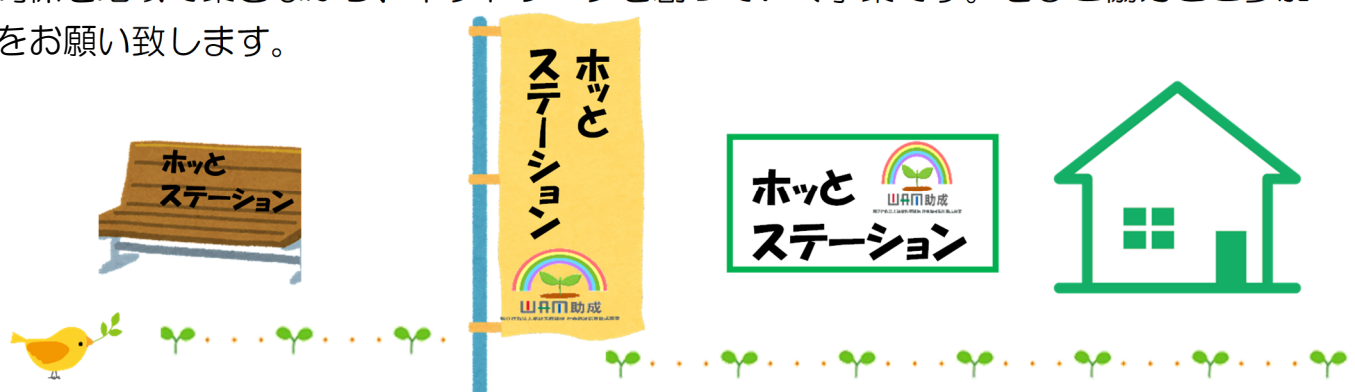




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

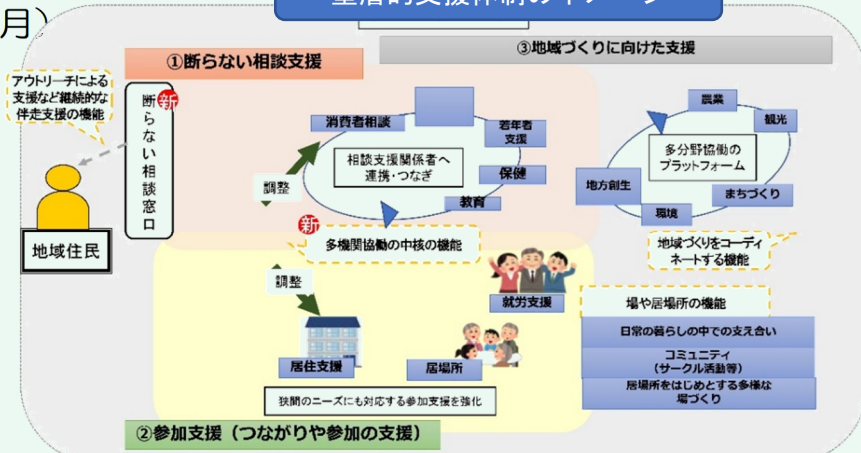
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)





## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

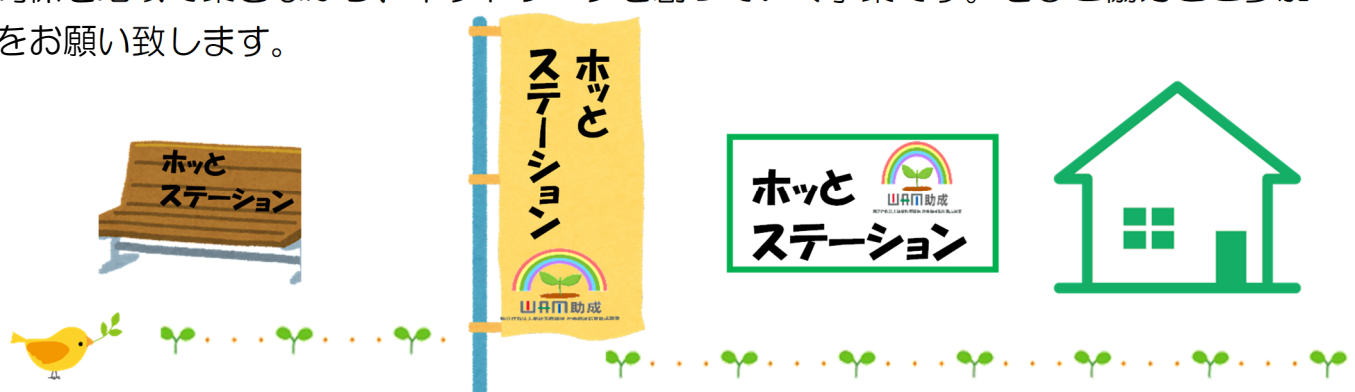




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

① 重層的支援体制整備にかかる勉強会 (7月)

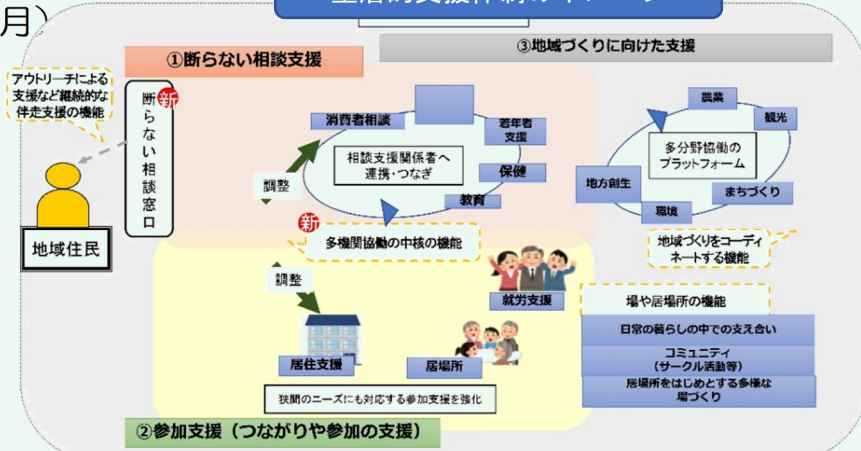
② 権利擁護を考える座談会 (10月)

③ 暮らしの法律相談会 (12月)

④ 困難事例検討会 (1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン (ZOOMミーティング) 設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

① 第1回 研修会

テーマ: 「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日 (月) PM

② 第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③ 第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日 (金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日 (月) 第2回 10月24日 (月)

第3回 2023年2月27日 (月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

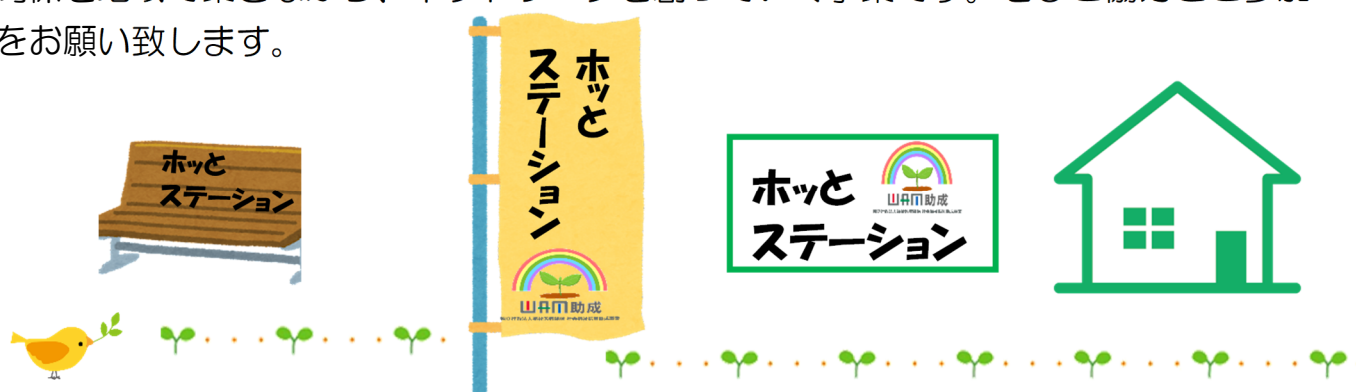




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

① 重層的支援体制整備にかかる勉強会 (7月)

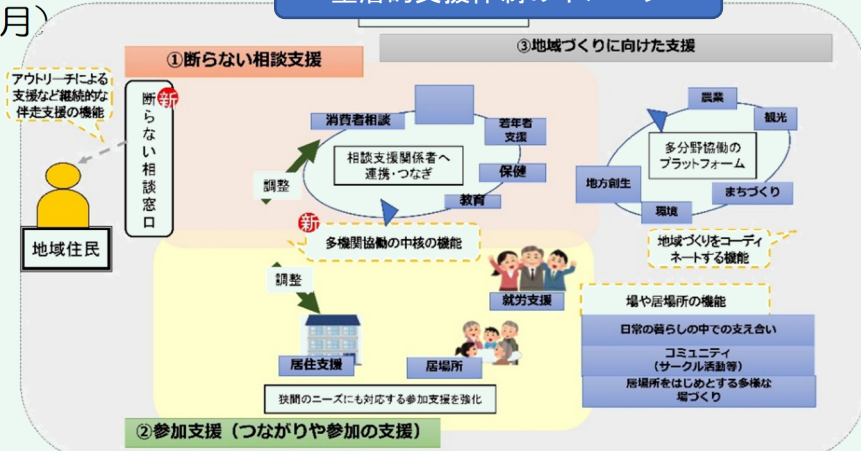
② 権利擁護を考える座談会 (10月)

③ 暮らしの法律相談会 (12月)

④ 困難事例検討会 (1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン (ZOOMミーティング) 設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

① 第1回 研修会

テーマ: 「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日 (月) PM

② 第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③ 第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日 (金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日 (月) 第2回 10月24日 (月)

第3回 2023年2月27日 (月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)



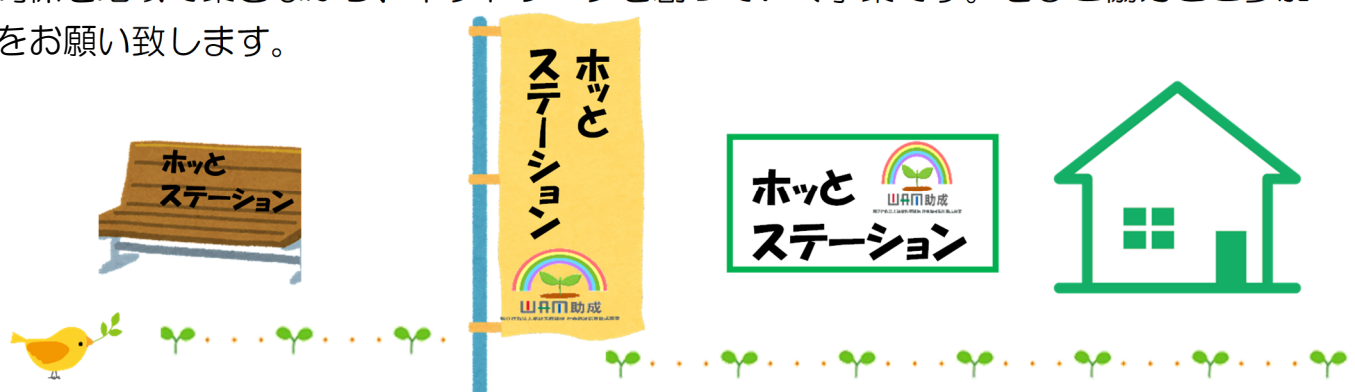




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)





## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

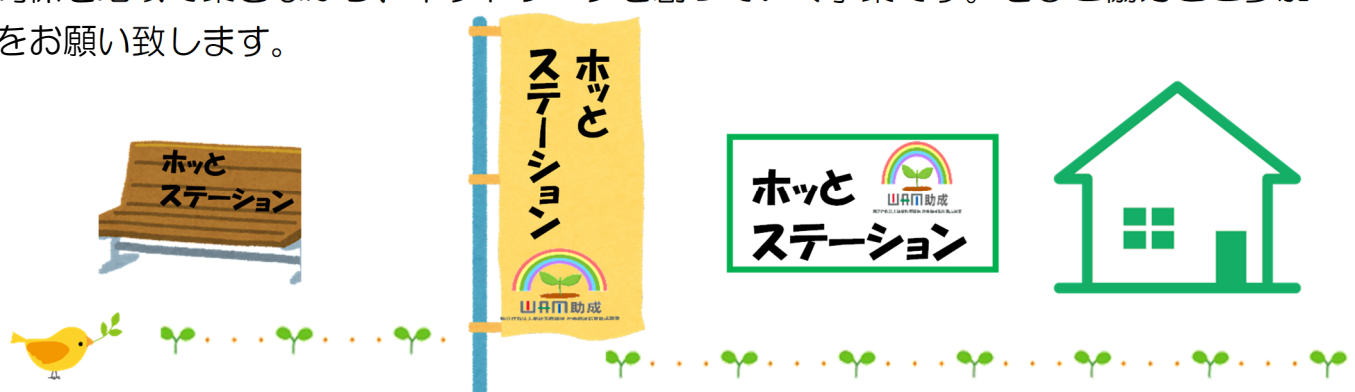




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

① 重層的支援体制整備にかかる勉強会 (7月)

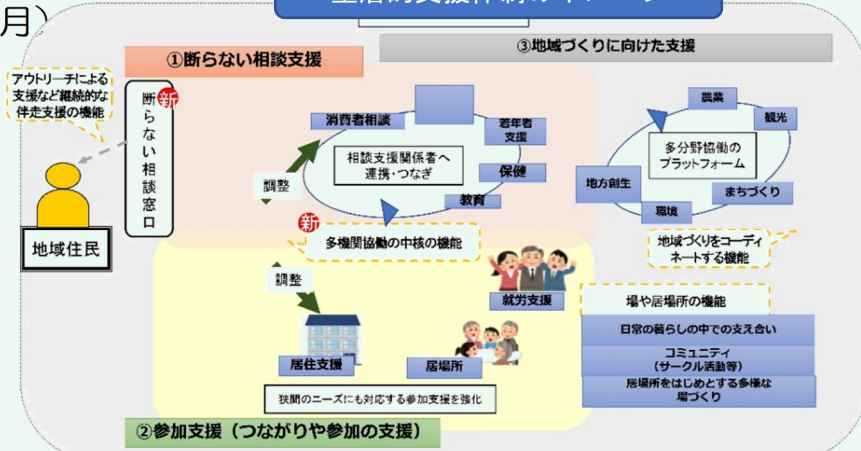
② 権利擁護を考える座談会 (10月)

③ 暮らしの法律相談会 (12月)

④ 困難事例検討会 (1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン (ZOOMミーティング) 設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

① 第1回 研修会

テーマ: 「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日 (月) PM

② 第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③ 第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日 (金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日 (月) 第2回 10月24日 (月)

第3回 2023年2月27日 (月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

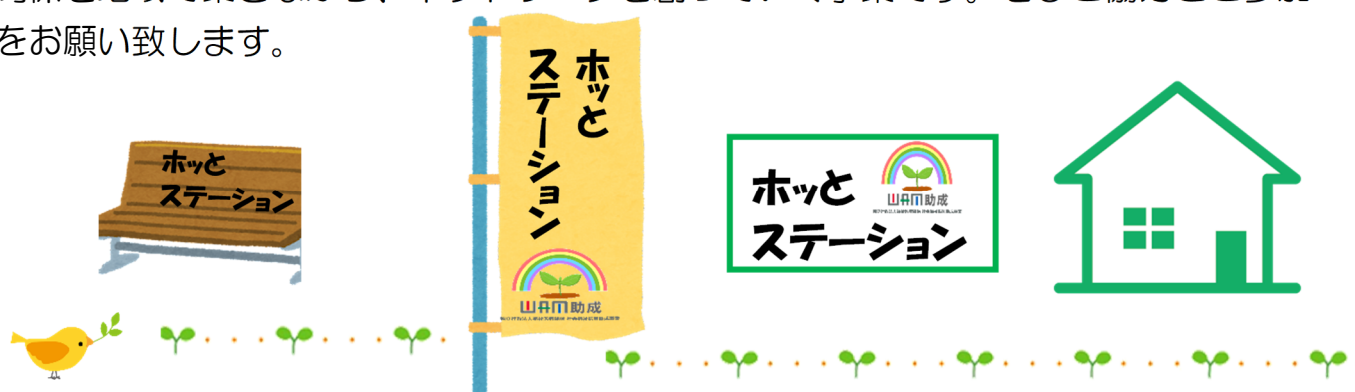




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

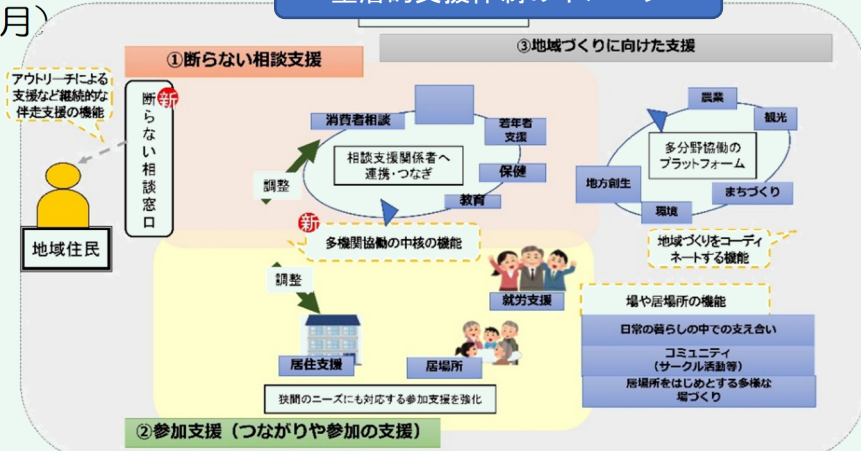
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)



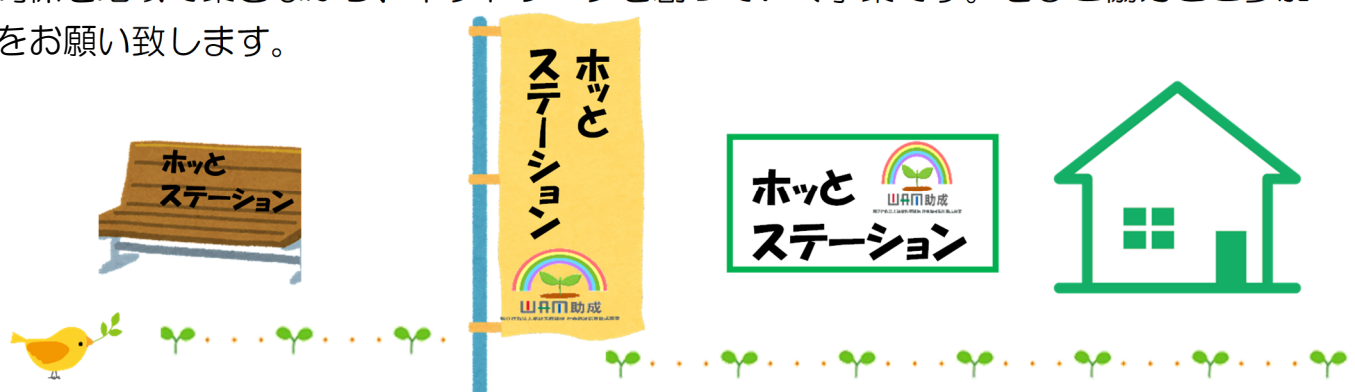




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

① 重層的支援体制整備にかかる勉強会 (7月)

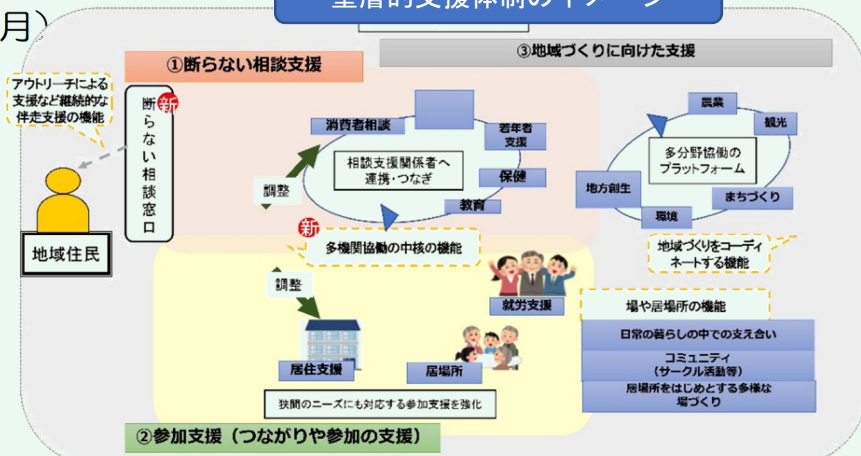
② 権利擁護を考える座談会 (10月)

③ 暮らしの法律相談会 (12月)

④ 困難事例検討会 (1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン (ZOOMミーティング) 設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

① 第1回 研修会

テーマ: 「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日 (月) PM

② 第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③ 第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日 (金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日 (月) 第2回 10月24日 (月)

第3回 2023年2月27日 (月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)





## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

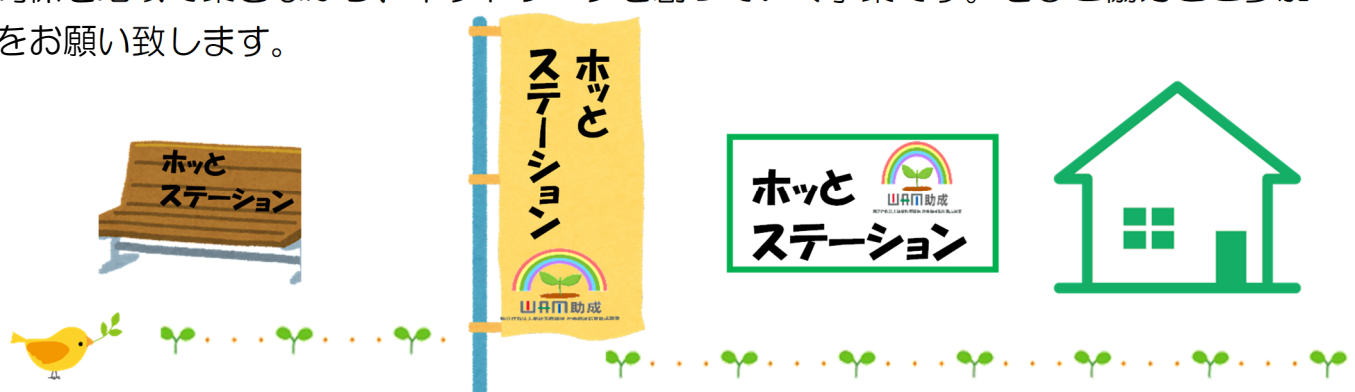




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

① 重層的支援体制整備にかかる勉強会 (7月)

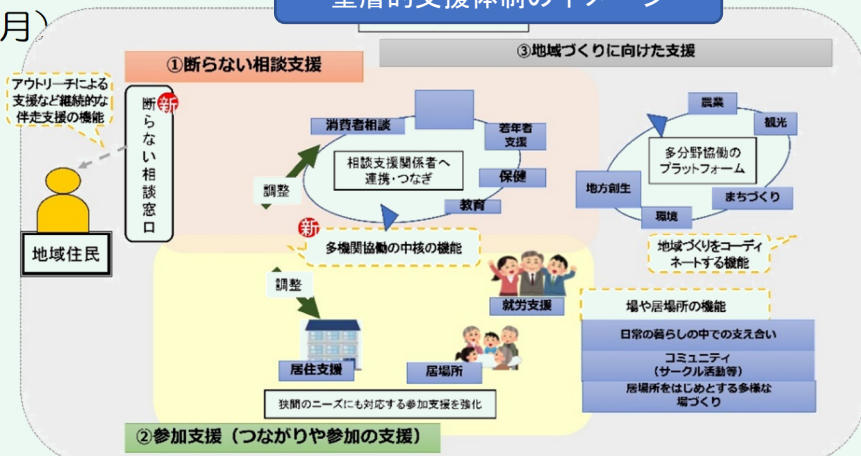
② 権利擁護を考える座談会 (10月)

③ 暮らしの法律相談会 (12月)

④ 困難事例検討会 (1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン (ZOOMミーティング) 設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

① 第1回 研修会

テーマ: 「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日 (月) PM

② 第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③ 第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日 (金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日 (月) 第2回 10月24日 (月)

第3回 2023年2月27日 (月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

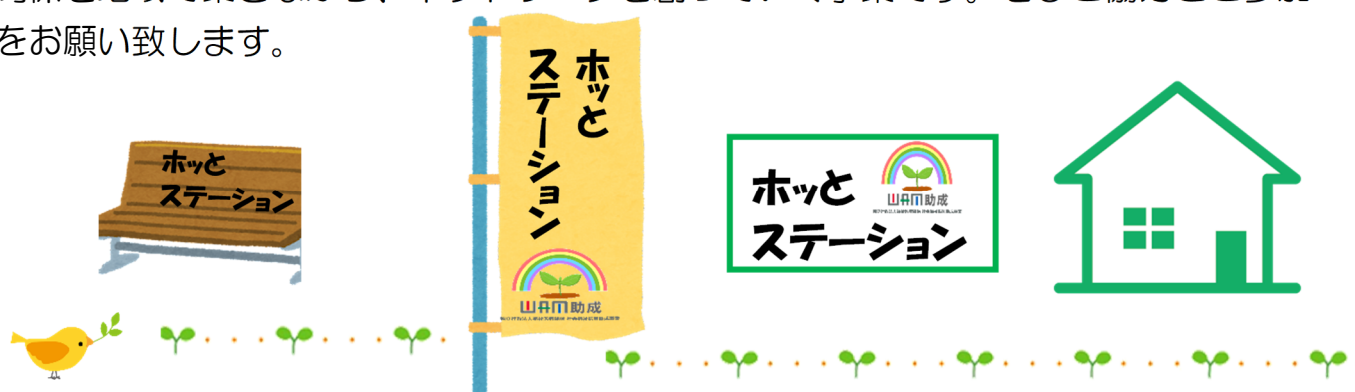




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

① 重層的支援体制整備にかかる勉強会 (7月)

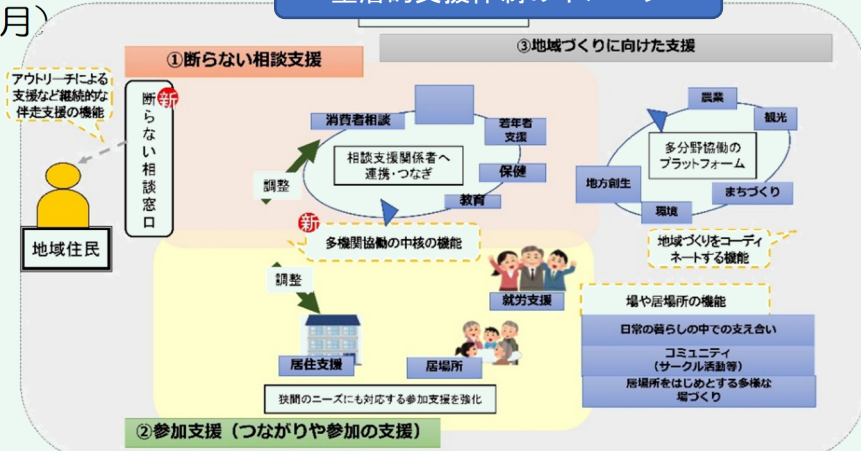
② 権利擁護を考える座談会 (10月)

③ 暮らしの法律相談会 (12月)

④ 困難事例検討会 (1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン (ZOOMミーティング) 設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

① 第1回 研修会

テーマ: 「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日 (月) PM

② 第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③ 第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日 (金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日 (月) 第2回 10月24日 (月)

第3回 2023年2月27日 (月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)



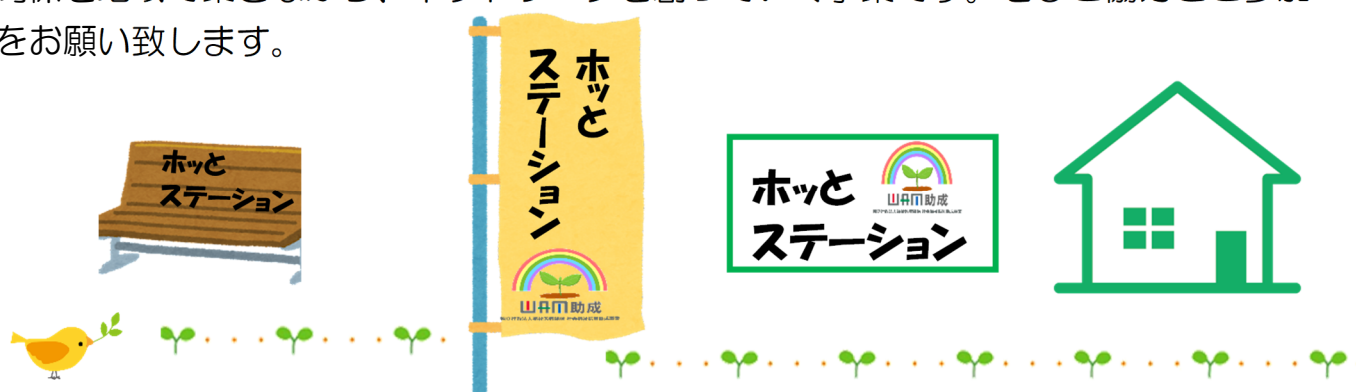




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

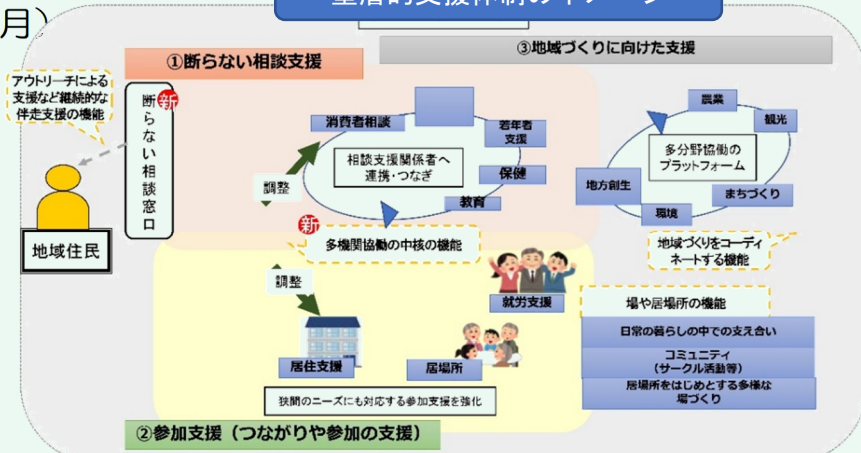
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)





## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)





## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

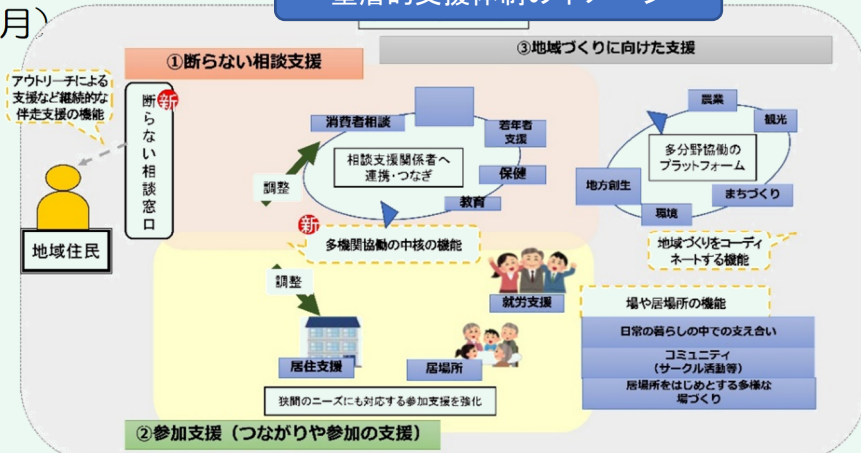
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時:2022年6月13日(月)PM

②第2回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ:8050問題 / 時期:2022年9月

③第3回 医薬と福祉がつながる座談会

テーマ:薬剤師さんに聞いてみよう / 時期:2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会:7月1日(金)

テーマ:生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会:第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531





## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいきます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)

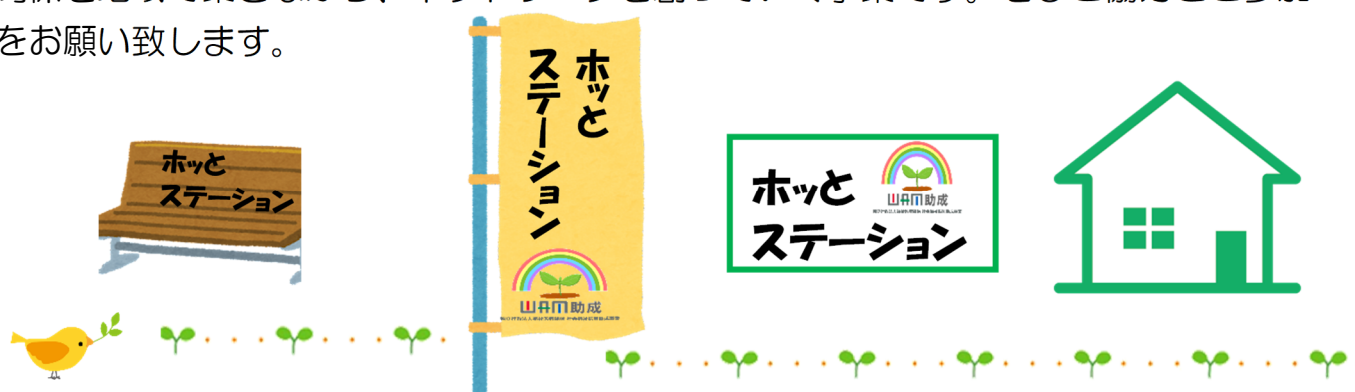




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井



## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

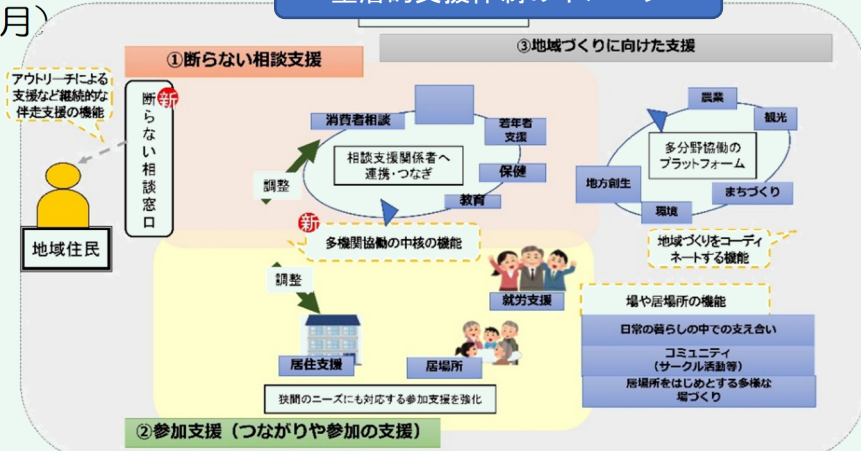
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)



## 【新年度のご挨拶】

社会状況の急激な変化と生活に関する制度が目まぐるしく更新される中で、制度に残される人・拒否する人・制度の狭間に陥っている人が増えていることを実感しています。

今年度、中核センター事業として新たな事業が追加されました。1つ目が「地域共生社会や重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ(研修等の開催)」、2つ目が「校内居場所づくり事業」です。

### (1) 重層的支援体制整備のための市町村等バックアップ事業

山武圏域では、山武郡市での地域課題を検討する山武圏域連絡調整会議を当初から行っており、その部会として、昨年度に「包括支援部会」を創設しました。複雑化した支援制度の中で、多分野多機関での総合的・重層的支援のあり方やネットワーク構築について取り組んでいきます。

### (2) 校内居場所づくり事業

「県立東金高校定時制」を対象として気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいます。



このように、当中核センター事業は社会状況の変化と新たな制度や取り組みについての普及活動も追加されましたが、社会や制度に振り回されるのではなく、むしろうまく活用できるように、又は活用しながら地域の福祉力向上に務めていきます。

今年度も、当センターの活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。(吉井)

## 新任のご挨拶



今年度から『さんネット』で働かせていただくこととなりました中田真貴と申します。今までは千葉市の障害者支援施設内にある相談事業所の相談員と、施設相談員を兼務していました。

コロナ過で生活や働き方が大きく変わってきていますが、新しい出会いを大切にしていきながら日々過ごせればと思っています。様々な業務内容を覚えて、沢山の方たちとの出会いを楽しみながら仕事を頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。(中田)



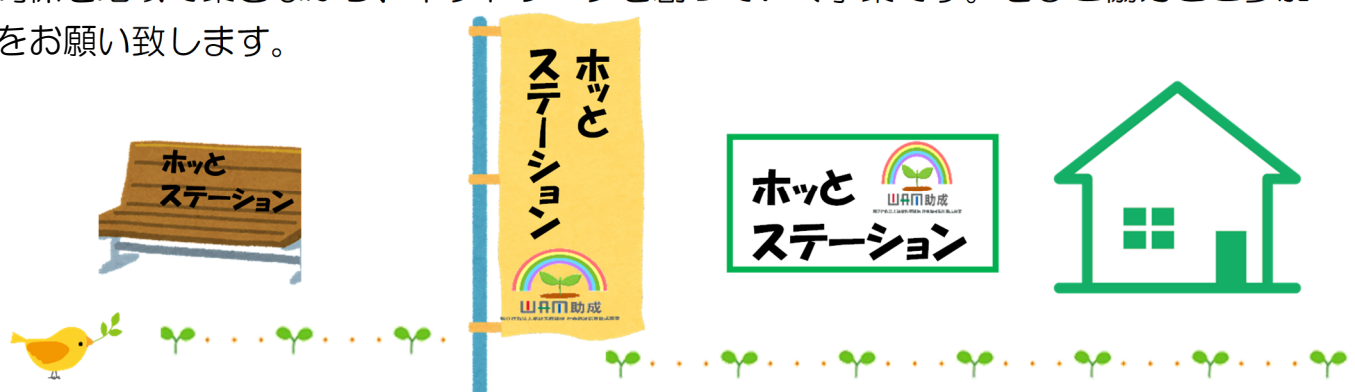




## 身近な地域で通える心の拠り所「ホッとステーション」

当中核センター事業を受託している特定非営利活動法人リンクが地域共生社会及び重層的支援体制整備に掲げられている「居場所支援を中心とした相談支援&ネットワーク構築」についてのパイロット的な事業をWAM助成（社会福祉振興助成事業）に提案し、採択されました。

山武郡市北部地域を中心に、お店や医療福祉機関・行政機関等が可能な範囲で、居場所(スペース)を地域の方々に提供し合う（表示としてステッカー貼付・のぼり旗・ベンチを置く等）ことで、住民個々人の「生活圏域」の中で特定の目的がなくても地域の中で気軽に立ち寄れる場所ができ、場所によっては相談できたり、就労訓練やフードバンクが受け取れる（又は寄贈できる）場所になる……。そのような緩やかな関係を地域で築きながら、ネットワークを創っていく事業です。ぜひご協力とご参加をお願い致します。



## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in2022



### 『地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築』

～つながり続けることの意味と重要性～（仮）

地域社会や人口様態が変化していく中で、各市町村が「誰もがありのままに暮らし続けることができる」地域社会の実現のため、何を大切にし、具体的にどう支援体制を構築していくのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(1) 2021 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告

(2) 基調講演

講師：厚生労働省地域共生社会推進室 室長 唐木 啓介 氏

(3) パネルディスカッション

開催時期：8 月下旬 13:00～17:00 開催方法：オンライン 参加費：無料

共 催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

※詳細は別途、お知らせさせていただきます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail [sun.net@npo-link.jp](mailto:sun.net@npo-link.jp)

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

中核地域生活支援センターと山武健康福祉センターの共催で、地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図ることを目的に、本会を1回、部会活動として、

(1) 包括支援部会、(2) 高齢者部会、(3) 児童部会を開催しています。

地域におけるニーズ及び社会資源の把握や地域課題の整理と情報共有その他地域福祉の推進に必要な事項を検討します。

## ● 包括支援部会 ●

市町村や関係機関が、多分野の状況について知り合い、重層的支援体制整備について、共通の理解とイメージが持てるように活動に取り組みます。

①重層的支援体制整備にかかる勉強会(7月)

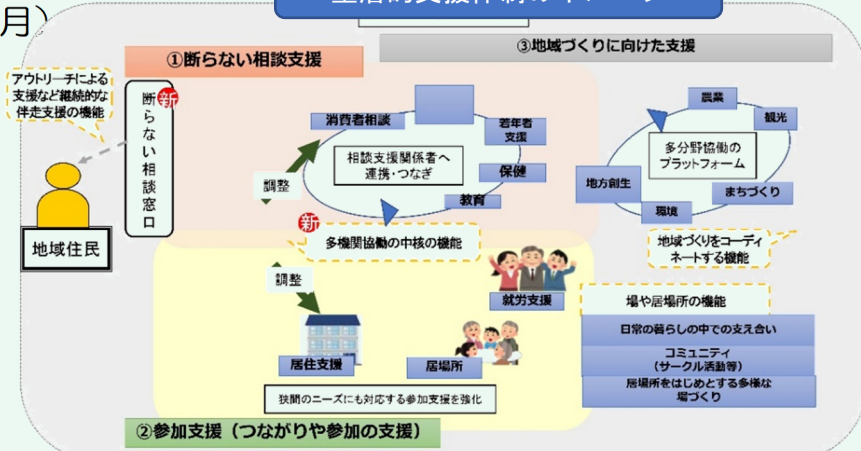
②権利擁護を考える座談会(10月)

③暮らしの法律相談会(12月)

④困難事例検討会(1月)



### 重層的支援体制のイメージ



## ● 高齢者部会 ●

圏域の高齢者の課題を検討する部会です。昨年度は「コロナで高齢者はどこに行ったのか」をテーマに、当事者インタビューを交え、コロナ禍における高齢者の活動について共有しました。また、オンライン環境普及のため、オンライン(ZOOMミーティング)設定のサポートも行いました。今年度のテーマ「身寄り問題」として、活動を行っていきます。

①第1回 研修会

テーマ:「身寄り問題と成年後見制度」

日時: 2022年6月13日(月) PM

②第2回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 8050問題 / 時期: 2022年9月

③第3回 医薬と福祉がにつながる座談会

テーマ: 薬剤師さんに聞いてみよう / 時期: 2023年2月



## ● 児童部会 ●

部会と併せ子育ての不安、子ども・親支援の悩みや親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場「子育てミニ集会」も開催します。

部会: 7月1日(金)

テーマ: 生きづらさを抱える子どもたちへの支援を考える

ミニ集会: 第1回 6月27日(月) 第2回 10月24日(月)

第3回 2023年2月27日(月) 各18時30分~20時

場所・問合せ 中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531



## 山武郡市障がい者基幹相談支援センター 「さんサポ」開設のお知らせ！

4月から山武郡市が共同設置した「山武郡市障がい者基幹相談支援センター」が開所しました。これは山武郡市3市3町の、障害のある方が安心して生活できるよう、ご家族、関係機関の方などから困りごとや希望をうかがい、解決に向けて一緒に考え、情報提供や適切な機関への紹介などを行う総合相談窓口です。

主な業務として、①専門的・総合的な相談業務、②地域の相談支援体制の強化(事業所や職員の支援)、③地域移行・地域定着の促進、④権利擁護・虐待防止などがあります。また山武圏域自立支援協議会の事務局も行います。

事務所は住民の方がアクセスしやすいよう、東金駅から徒歩約十分の場所です。

職員は(特非)リンクや、(福)翡翠会、(医)静和会、(有)あいの手介護サービス、(福)ワナーホームから、経験のある相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などが集まって毎日4人で業務にあたります。



【住 所】東金市南上宿41-8

【電 話】0475-86-6474

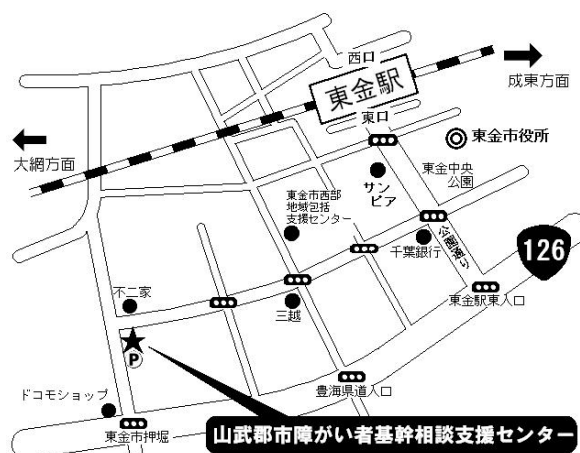
【対象者】山武郡市(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町)にお住まいの障がいのある方、ご家族、関係機関の方など。

【費 用】相談にかかる費用はいただきません。

【窓口開設日】月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)

障害に関するお困りごとがあれば、まずはお気軽にご相談ください。ご本人でなくてもご家族や関係機関の方、またお知り合いの方の相談にも対応します。手帳がなくてもご相談ください。

また基幹相談支援センターは相談だけでなく、障害のある方が暮らしやすい地域作りを目指して、研修や啓発などの各種イベントも行う予定です。それらの案内もお知らせしますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



(山武郡市障がい者基幹相談支援センター「さんサポ」山岡)